

第七十三回帝國議會
衆議院

國家總動員法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月三日(木曜日)午前十一時五
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豊田 豊吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豊光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 川崎末五郎君

長井 源君 小高長三郎君

泉 國三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 板野 友造君

河上 哲太君 熊谷 直太君

植原悦二郎君 猪野毛利榮君

牧野 良三君 若宮 貞夫君

岩元榮次郎君 藤本 捨助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君

淺沼稻次郎君 今井 新造君

三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

內務大臣 末次 信正君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 風見 章君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

對滿事務局次長 原 邦道君

內務政務次官 勝田 永吉君

陸軍中將 山脇 正隆君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

陸軍航空兵中佐 佐藤 賢了君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ開會致シマス、今日

登院セラレテ居ル大臣ハ、大藏大臣ト內務

大臣ダケデアリマシテ、他ノ大臣ハ山階宮

大妃殿下ノ御葬儀ニオ出デニナツテ居ルサ

ウデアリマス、大藏大臣、內務大臣ノ御出

席ガアレバ、此委員會ヲ開イテ行ク積リデ

アリマシタガ、能ク聞イテ見マシタ所、此

兩大臣モ此委員會ニハ御出席ガ出來兼ネル

サウデアリマスカラ、午前中休憩致シマス、

午後ハ一時半カラ開會致シマス

午前十一時六分休憩

午後二時二十分開議

○小川委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キマ

シテ開會致シマス——植原君

○植原委員 先ツ劈頭ニ伺ヒタイコトハ、

今日ノ新聞ニ色々出テ居リマスガ茲ニ私ハ

之ヲ讀ミ上ゲテ、之ニ付テ御尋ラシタイノ

デアリマス、去ル二日ニ首相官邸ニ於テ書

記官長ガ民政黨ノ町田總裁ト政友會ノ代行

委員前田君ト會見シテ、舉國一致ノ強化ニ

付テ議事促進ニ關シ重要協議ヲ遂ゲタ、之

ニ付キマシテ以下ハ括弧ヲシテアリマスカ

ラ、是ハ政府カラ此事ヲ新聞ニ出シタモノ、

ト推測サレマス、其意味ハ斯ウデアリマス

「現下ノ緊迫セル國際情勢ニ對處シ支那事變

ノ解決ト大陸政策ヲ遂行スルタメニハ國民

的支援ト完全ナル舉國一致ノ體制ヲ整備ス

ル必要ガアル、然ルニ衆議院ニオケル國家

總動員法案竝ニ電力國家管理案等ノ重要法

案審議ノ經過ヲ觀ルニ政府ト政黨トノ間ニ

重大ナル意見ノ對立確執ガアルヤウナ情勢

ヲ現出シテキルコトハ遺憾至極デアル、カ

カル情勢ガ今後モ持續シ重要法案ノ審議ガ

澁滯遲延スル場合ハ必然的ニ政局ノ不安ヲ

招來スルコトニナルガコレガ支那竝ニ國際

政局ニ及ボス惡影響ニツイテハ眞ニ憂慮ニ

堪ヘナイモノガアル」此點デアリマスガ、此

記事ハ明ニ括弧ヲシテ居リマスルカラ、明

瞭ニ政府部内カラ出シテ、新聞ニ掲載スル

コトヲ致シタモノト思ハレマス、私共ハ今

日マデ此國家總動員法ノ審議ニ對シテ、議

事ノ遲延ヲセシメテ居ルヤウナコトハ絕對

ニアリマセヌ、御承知ノ如ク審議モ極メテ

眞剣デアリマス、國民全體ノ生活ニ關スル

コトデアリマスガ故ニ、之ヲ現時ノ狀態ニ

於キマシテ、本當ニ護リ得ル者、ソレニ依ッテ

護ッテ貰ハナケレバナラナイと思ハレテ、國民ノ信賴ヲ受ケテ居リマス者ハ、帝國議會ノ議員アルノミダト私ハ確信シテ居ル、而シテ此記事ノ出マスル心理状態ヲ立入ッテ検討致シテ見マスルト、斯ウ云フコトダト思フ、重要法案ニ對シテハ時局ハ極メテ重大デアルカラ、政府ノ思フ通り盲從スベキデアル、之ニ對シテ議員ガ彼此レノ言論ヲ吐クコトハナラナイ、重要法案ニ對シテハ苟モ所見ノ異ル所ガアツデハナラナイ、意見ノ對立確執ガアルヤウナ情勢ヲシテ居ルノハ遺憾千萬デアル、是ハ一體ドウ云フコトデアリマス、私共ハ國民各階級ノ意見ヲ議場ニ現ハシマシテ、而モ國民ノ總意ノアル所ガハッキリ致シマシテ、其問題トナッテ居ル所ノ法案ガ、是ガ眞ニ國家國民ノ爲ニナルモノダトシテ決定スル所ガ、議會政治ノ本義デアルト存ジテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、議會ニ於テ意見ノ對立アルコトハ、此非常時局ニ對シテ遺憾千萬ノコトデアル、此根本ハ議會否認ノ思想デアルト云フノデナケレバ、斯様ナ結論ノ出テ來ル筈ハナイと思ヒマス、ソレガイツ、モウイツハ此記事ノ中ニハ斯様ナ意味ガ含マレテ居ル、政府ノ見ル所ハ正シイノダ、之ニ反對スル者ハ正シキ意見デハナ

イ、政府ノ見ル所ニ反對スルノハ國家國民ノ利益ヲ考慮セザルモノデアル、斯ウ云フ心理状態ニアラザレバ斯様ナ記事ハ發表出來ル筈ハナイ、私共ハソレニ對シテ丁度逆ニ考ヘテ居ル、政府ノ主張スル所必シモ正シイモノデハナイ、國政ヲ立憲政治ノ下ニ於テ審議スルニハ、政府モ其所信ヲ明ニスルガ宜シイ、國民ヲ代表スル所ノ議員モ誠心誠意其信ズル所ヲ述ベテ、而シテ最後ニ國民全體ノ意見ガソコニ表現サレタ時ニ、自ラ其趨ク所ニ依ッテ、事ヲ定メルノガ、議會政治ノ本義デアルト思フ、然ルニ政府ノ云フ所ニ從ハナケレバ國家ノ利益ニ反スルヤウナコトノ考ヲ持ッテ居ル、此政府自體ニ付テ考ヘテ御覽ニナッテモ、洵ニ政府ノ考ガ何時デモ正シクナイコトハ明瞭ダ、事實ノ例ヲ舉ゲテ申ス、支那事變ニ對シテ政府ハ最初何ト申シタカ、蘆溝橋事件ノ當時ハ局地解決ヲ以テ臨ム、ソレ以上ニ發展セシメナイノデアル、斯ウ言フタ、ソレガ今度北支五省ニ及ンダ、今度北支五省ノ時ニモ成ベク之ヲ南ニ發展セシメナイ積リデアルト言ツタ、ソレガ今度上海マデ及ンデ、今ハ何處マデ是ガ伸ビテ終局スルカ、唯國民ハ長期應戰ト云フコトヲ承知致シテ居ルガ、長期應戰ノ背後ニ於ケル意味ヲ、國民

ハ諒解スルニ苦シンデ居ルヤウナ状態、勿論支那事變ハ相手方ノアルコトダカラシテ、コチヲノ思フ通りニハナラナイト仰シヤルデセウ、ソレハ、其通りデソレヲ彼此レ申スノデナイガ、人間ノ判斷認識ト云フモノハ或ル限度ガアル、神様デハナイ、政府ノ言フ所必シモ正シイトハ申サレナイ、ソコヲ慎重ニ審議スルコトガ議會政治ノ本義デアル、其議會政治ノ本義ニ基イテ晝夜國政ノ審議ニ當ッテ居ル議員ニ對シテ、對立ノ意見ガアレバ、現在ノ國際情勢ニ於テハ困ル状態ガ生ズル、斯ウ云フコトガアレバ政局ノ不安ヲ招來スルト云フ、是ハドウ云フコトカト言ヘバ、此結果ハ内閣ガ辭メルカ、或ハ議會ヲ解散スルゾト云フ意味モ含マレテ居ル、議員ノ方カラハ政局ノ不安定ハ、審議ガ長引ケバ議會ヲ解散スルゾト云フ威嚇デアルト取ッテモ致シ方ガナイ、政府ガ辭職スル辭職シナイハ、是ハ御隨意ダ、併シ議會デ重要ナル法案ヲ審議シテ居ル間ニ、議員ノ心證ニ影響ヲ及ボスガ如キ、是ハ一種ノ威嚇デアリマス、ソレモ議員ガ審議ノ上ニ於テ怠慢デアツタカラト云フナラバ、是ハ已ムヲ得ナイガ、少クモ此國家總動員法ノ審議ニ於テ、今日マデ本會議ニ於テモ委員會ニ於テモ、何處ニ此審議ヲ故意

ニ遲滞セシメタト云フヤウナ點ガ存在致シマスカ、今朝アタリノ光景ヲ見テモ、十時ニ委員會ガ開カレルベキモノヲ、政府ノ御都合ノ爲ニ、一時間以上モ各委員ハ此處デ靜ニ待ッテ居ッタデハナイカ、斯ウ云フ事實カラ見テモ、故ヲニ此審議ヲ遲滞セシメルトカ、延期セシメルトカ云フヤウナコトハ毛頭ナイノデアル、ソレニモ拘ラズ恰モ議員ガ故意ニ、重要ナル法案ノ審議ヲ遲滞セシメテ居ルカノ如キ責任ヲ、議員ニ浴ビセ掛ケルガ如キ記事ヲ新聞ニ宣傳シ、斯様ナコトヲ致セバ政局ノ不安ヲ招來スル、間違ヘバ議會ヲ解散スルゾト、惡ク取レバ威嚇デナイカト思ハレルヤウナ記事ヲ掲ゲルト云フコトハ、實ニ不埒千萬デハナイカ、是ガ國家ニ忠實ナル所以ト言ハレマスカ、是ガ不眞面目ナル所ノ政府ノ態度デアル、ソレバカリデハナイ、舉國一致トハ一體ドウ云フコトダ、現政府ハ舉國一致ト云フコトニ付テドウ考ヘテ居ルカ、舉國一致ト云フ美名ノ下ニ議會ノ言論ヲ抑壓シ、議員ノ心證ニ政府ニ便利ナル如キ状態ヲ現出セシメントスルコトハ、議會政治ヲ毒スルモノデアル、私ハ此記事ヲ見マシタ時ニ、政府自ラ舉國一致ヲ破ルモノデハナイカ、舉國一致ト云フコトハ官憲ノ力ヲ以テ言論

ヲ抑壓シタリ、議會ノ解散ヲ仄メカシタリシテ、政府ノ意ニ屈從セシムルコトガ舉國一致デハアリマセヌ、舉國一致ト云フコトハ、國民全體ガ出來得ル限り、各、ガ欲スル所ヲ述ベテ、道理ニ依ッテ、正シイ判斷ニ依ッテ國家ノ嚮フ所ヲ定メテ、其定メタ所ニ向ッテ幕地ニ國民ガ一致シテ進ムト云フコトガ、舉國一致ト云フコトデアル、ソレニハ議會ニ於テモ出來得ル限り政府ハ必要ナル法案ニ對シテハ、懇切丁寧ニ提案ノ理由ヲ説明シ、議員ハ出來ルダケ眞劍ニ事實ノ真相ヲ質シ、而シテ當然落著クベキ所ノ結論ニ到達スルコトガ、舉國一致ノ態勢デアル、獨逸ヤ、伊太利ヤ、露國デヤッテ居ル所ノ舉國一致ハ、議會政治ノ國ニ於テハ、絶對ニ許スベキコトデハナイノデアル、政府ノ提案ニ默從シテ來イ、意見ハ言ハナイデ屈シテ來イ、政府ノ希望スル通りニ審議ヲ進メヨト云フ、ソレデハ議會政治ノ必要ハナイ、一體斯ウ云フコトヲスルコトガ、國民ノ間ニ相剋摩擦ヲ生ズル因デアル、私共此國家總動員法ハ憲法上ニモ非常ニ疑義ノアル問題ダシ、國民ノ全體ノ生活ニ關スル問題ダカラ、今日直グ只今要ルト云フモノデモナイ、總動員ノ準備ハアッテ然ルベキデアル、是ハナケレバナラス、併シ今日ノ

時局ヲ達觀スル時ニ、今明日ニ迫ッタモノデモナイカラ、斯様ナ問題ノ爲ニ國民ノ間ニ不安ヤ相剋ノナイヤウニスルト云フコトデ、實ハ成ベク私共ノ意見ヲ政府ニ忠實ニ通ズルヤウニ努力シテ見タ、然ルニ茲ニ此法案ガ提出サレ、而シテ政府ノ其提案ノ説明ヲ見ルト洵ニ支離滅裂デアル、而モ其審議ヲ進メタバカリデアルノニ、政府ノ部内カラ、此審議ガ遲滯シテ居ル、斯ウ云フコトガ國民間ニ於ケル對立確執ヲ世間ニ現ハスモノデ、是ハ國家ノ爲ニ宜シクナイ、斯様ナコトヲスレバ政局ノ不安ヲ生ズルト言フ、是ハ何ヲ仰シヤルノカ、諸君此點ヲ御考願ヒタイ、日本ノ事情ハ議會ノミニ依ッテ世界ニ分ルモノデハナイガ、併シ議會ノ言論ガ忠實ニ爲サレ、バ爲サレル程、日本ノ國家ハ健在デアル、堅實デアルト云フ印象ヲ與ヘル、是ガ政府ニ盲從スルヤウナコトガアツタラ、日本ハ非常ニ不健全ナ國ダト思ハレル、ドンナニ議會ヲ議論ヲシテ居ッテモ、國家緩急アル場合ニ日本ノ國民ガ一絲亂レズニ進マナシダ實例ガアリマスカ、日清戰爭當時ノ日本ノ議會ヲ御覽ナサイ、日露戰爭當時ノ日本ノ議會ハ如何デアル、日獨戰爭當時ノ日本ノ議會ハ、日獨戰爭可否ノ議論サヘモ議會デナシタガ、一タビ是ガ開戦ト

決ツタ場合ニ、誰一人政府ノ方針ニ對シテ異議ヲ唱ヘタ者ガアツタカ、斯ウ云フ實例ハ洵ニ歴史ノ上ニ於テモ明カダシ、今日世界ノ文明國デ、日本ノ國情位ヲ知ラナイ國ハ一箇國ダッテアル筈ハナイ、然ルニ外國ヲ笠ニ著テ、時局ニ藉口シテサウシテ帝國議會ノ審議ヲ左右セントスルガ如キスル記事ハ、私共斷ジテ默過スルコトハ出來ナイ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイ

○鹽野國務大臣 議會ニ於テ互ニ意見ヲ交換シ、論議ヲ盡シテ慎重審議ヲスベキコトハ洵ニ御説ノ通りデアリマス、政府モ亦議會ニ於テ十分ニ審議ヲ盡スコトヲ望ンデ居ルノデアリマシテ、決シテ諸君ノ盲從等ヲ希望スルモノデハナイノデアリマス、只今御讀上ゲニナリマシタル新聞記事ハ、私共全ク存ジマセヌ所デアリマス、政府ハ議會ノ慎重ナル審議ヲ尊重致スモノデアリマスカラ、此點ニ反スルヤウナ記事ニ付テハ、全ク政府ノ關知セザル所デアリマス、恐ラクハ會期モ半バヲ過ギマシタシ、成ベク議事ノ進行ヲ欲スルト云フヤウナ御話デモアツタモノデハナイカ、私ハ唯左様ニ想像スルダケデ事實ハ存ジマセヌガ、今申上ゲマスルヤウニ、政府ト致シマシテハ議會ノ慎重ナル御審議、遠慮ナキ意見ノ交換ヲ御願致

シテ居ル次第デアリマス、又本委員會ニ於テモ、諸君ガ極メテ熱心ニ御議論ニナッテ居ルコトヲ、十分認メテ居ル次第デアリマス

○植原委員 只今鹽野司法大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、此記事ノコトハ知ラナイト云フコトデゴザイマスガ、御存ジナケレバ、ドウシテ斯ウ云フ記事ガ出タモノカ、御取調ノ上ニ他日御返事ヲ願ヒタイ、ソレカラ此記事ニ現レテ居ルコトハ却テ舉國一致ヲ索ルコトデアリ、議會政治ヲ傷ツケルコトデアルト思フガ、ソレハ私ガ讀上ゲタコトヲ以テスレバ、ソレダケハ御承認ニナルコトト私ハ思フ、ソコデモウ一ツ私ハ鹽野司法大臣カラ御言明ヲ得テ置キタイコトハ、此委員會ガ此審議ヲ進メル爲ニ、洵ニ忠實ニ、而モ寸時モ無益ニセズシテ、今日マデ進行シテ居ルト云フコトニ付テハ、之ヲ御認メニナルダラウト思フ、サウ云フ點ヲハッキリ致シテ置イテ戴ケバ宜シイ、此記事ガドウシテ出タカト云フヤウナコトハ、又御取調ノ上ニ御返事願ヒタイ

○鹽野國務大臣 本委員會ニ於テ御熱心ニ御審議相成ッテ居ルコトハ、十分認メテ居ル次第デアリマス

○西岡委員 只今植原委員ノ質問ニ關聯シテ、私モ一寸政府ニ聽キタイト思ヒマス、

御許シ願ヒマス

○小川委員長 西岡君

○西岡委員 只今植原委員ノ此讀賣新聞ノ

記事ニ關スル御質問ニ對シテ、鹽野司法大臣ハ此記事ノ内容ハ知ラナイト云フ御答デゴザイマシタ、併ナガラ是ハ内閣書記官長ト民政黨ノ總裁、前田政友會代行委員トノ會見デアリマス、是ハ書記官長ハ政府ヲ代表シテノ會見ト思ヒマス、ソコデ私ガ聽キタイコトハ、今植原委員ノ言ハレマシタヤウニ、此處ニ書記官長ノ表現シテオ居デニナル事柄ト、昨日近衛總理大臣ノ言ッテオ居デニナルコトハ大分違フ、ソレハドウ云フコトカト申シマス、總理ハ斯ウ言ッテ居ラレマス、熱心ニ極メテ眞剣ニ論議ヲ爲サレタコトヲ承知致シマシテ、深ク敬意ヲ表シ且ツ感謝スル次第デアル、ソレカラスウ云フ風ニ議論ヲ重ネテ行クコトガ、國民ノ此法案ニ對スル了解ヲ得、國民ノ協力ヲ得ル爲ニ必要デアル、此法案ニ對シテ出來ルダケ論議ヲ盡シテ貫ハナケレバナラス、又政府モ懇切明確ニ納得ノ行ク迄答ラスノデアル、斯ウ言ッテ居ラレル、將來モ大イニ論議ヲセヨト言ッテ居ラレル、然ルニ書記官長ハ茲ニ重ネテ重要法案トシテ、電力國家管理案ト二ツヲ竝ベテ居リマス、電力國家管

理案ノコトハ是ハ別問題デアル、此法案ニ關スル限り、吾々ハ斷ジテ書記官長ノ言ハレルヤウナコトハナイ、ダカラ私ハ此處ニ明ニシマス、吾々ハ二十六日ニ委員長ヲ中心ニ理事會ヲ開キマシテ、此國家重大ナル法案ノ審議方ニ付キマシテ協議ヲ致シマシタ、是ガ圓滑ニ審議ノ終ルヤウニ吾々ハ申合セラシテ居ッタ、然ルニ書記官長ガ暮夜密カニ委員長ヲ訪問シテ、吾々ガ委員會ニ於テ大體ノ目標ヲ相談シテ居ッタコトニ反スルヤウナ行動ヲ執ラレタ、サウシテソレヲ寧ロ無理ニ要求セラレタヤウナ感ガアル、ソコデ二十八日ト一日ノ二日間ニ於テ、一體ドレダケノ審議ガ出來タカト云フト、質疑ハ僅ニ二時間半デゴザイマス、總理ノ出席ヲ俟ッテ審議ヲ進メルコトガ、私達ハ圓滑ニ議事ノ進行ヲ爲シ得ル所以ダ、斯ウ信ジテ、ソレヲ主張シタ、併ナガラ書記官長ハ總理ノ出席ヲ俟タズ議事ヲ進メテ行カウト言ッテヤッタ結果、二日間掛ッテタッタ二時間半、昨日總理ガ出席ニナッテドノ位ヤッタカト云フト、四時間四十分、一日デ審議ヲ進メタノデアリマス、モット進メテモ宜カッタノデアルガ、吾々ハ今後ノ議事ノ進メ方ニ付キマシテ、協議ヲスル爲ニ五時十七分ニ止メタ次第デアリマス、植原委員ノ言ハレマシタヤウニ

此重要法案ノ審議ガ澁滞遲延スル場合ニハ、必然的ニ政局ノ不安ヲ招來スルコトニナルト云フ其意味ハ、内閣ガ辭職ヲスルト云フ意味デアルカ、ソレトモ議會ヲ解散スルト云フ意味デアルカ、ドツチカデアルト思ヒマス、之ヲハッキリシテ戴キタイ、吾々ハ此議會ノ解散ト云フヤウナ聲ニ脅カサレ嚇カサレテ、此重大ナル法案ニ對スル贊否ヲ決メタト云フコトデアリマシテハ、國民ニ對シテ申譯ガナイ、先ヅ之ヲハッキリシテ戴キタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 書記官長ノ談話ノ内容ガ如何デアリマシタカ、新聞ノヤウナモノデアルヤ否ヤハ、能ク取調ベタ上ニ御返事ヲ致シマス

○植原委員 今マデ憲法問題ニ對シテ色々御尋シマシタガ、結局私共ニハマダ判然セヌ廉ガアリマス、私共ハ憲法第二章ニ規定スル臣民ノ權利義務ハ、法律ニ依ッテ保障サレテ居ルモノダト思フノデアリマス、此保障サレテ居ル現實ニ對シテ、更ニ之ヲ制限スルトカ、剝奪スルトカ云フヤウナ場合ニハ、法律ヲ以テ——丁度書記官長ガ來ラレマシタカラ伺ヒマスガ、今朝ノ新聞ニ出テ居リマスル記事、即チ書記官長ガ昨日首相官邸ニ於テ民政黨ノ町田總裁、政友會ノ前

田代行ト御會ヒニナリマシテ、國家總動員法案ト電力案ニ對スル審議ノ促進ヲ御談議ニナッタ、其御談議ニナッタト云フ結果ノ内容ニ付テ、讀賣新聞ニ記事ガ出テ居ルノデアリマスガ、此記事ハ而モ書記官長ノ談シテノ部分ダケ括弧ガ入ッテ居リマス、マサカ此括弧ノ中ヲ新聞ガ作り上ゲタモノトハ思ハレマセヌ、多年新聞ニ經驗ノアル書記官長ガ、如何様デアッテモ、記事ノ取扱上左様ナコトガアルトハ御考ヘニナルマイト思ヒマス、是ハ有ノ儘ニ書記官長ガ談話ノ形式デ御話ニナッタカ、或ハ書イテ御渡シニナッタモノヲ、其儘括弧ニ入レテ掲載サレタモノデアルコトハ間違ナイト思ヒマスガ、此點ヲ書記官長ヨリ直接ニ明確ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○風見政府委員 此新聞記事ヲ讀ミマシタガ、恐ラク前田米藏君モ町田總裁モ、斯ウ云フ話ガアッタト云フコトヲ新聞デ見タラ、吃驚スルダラウト思ヒマス、事實無根デス何モアリマセヌ、隨テ括弧ノ中ニアルヤウナ話ハ、私ハ斷ジテ致シマセヌ、サウ御諒承願ヒマス

○植原委員 是ダケ重要ナ記事デアリマスカラ、書記官長ガ此委員會ノ席上ニ於テ、事實無根デアルト云フコトデアリマシタナ

ラバ、必ず御取消ニナルモノト存ジマス、ドウカ速ニ國民ニ對シテ非常ナル不安ヲ與ヘルヤウナ斯ウ云フ記事ヲ、新聞ガ故意ニ書イタトシタナラバ、内閣カラ命ジテ御取消アランコトヲ希望致シマス

○中村委員 一寸關聯シテ書記官長ニ伺ヒタイ、實ハ此總動員法案ガ本會ニ上程サレタ日、政府ガ碌々答辯ガ出來ナイ、國務大臣ガ最初答辯ナサラズ、企畫院總裁ガ答辯セントシテ、議場ノ狀態デ答辯ガ出來ナカッタ、後デ廣田氏ガ船田氏ヲシテ答辯セシメルト云フト、議員ノ方ガ承知シナカッタ、是ハ約東ガ違フ、サウ云フコトデ議會ガ休憩シテ居ル最中ニ、書記官長ガ新聞記者ニ向ッテ、其経緯ヲ話サレル際ニ、政黨ノ幹部、首腦部トハ諒解ガ出來テ居ッタノダ、大臣デナイ者ガ答辯スルコトニ諒解ガ出來テ居ッタガ、政黨ノ内部ノ不統制ノ爲ニ、其意味ガ全體ニ徹底シナイデ、ア、云フ事態ヲ捲起シタノダ、斯ウ云フ話ヲ書記官長ガ、今新聞記者ニ正式ノ聲明デハナイガ御話ヲシテ居ラレルゾト云フコトヲ、私共ハ新聞記者カラ聴イタ、餘リ酷イコトヲ言フデハナイカ、成程書記官長ハ世間デ謂フ政府ノ大番頭デアラウケレドモ、斯ウ云フ重大ナ審議ノ際ニ、自分ノ不體裁ヲ繕フ爲ニ、非ヲ議員側ニ負ハ

セルヤウナ話ヲサレルト云フコトハ、洵ニ怪シカラスト思ッテ居ッタ、所ガ翌日ノ新聞ヲ見ルト、書記官長ノ談トシテデハナイガ、アノ事態ヲ説明スルノニ丁度同ジヤウナモノガ現ハレテ居ル、是ハ書記官長ガ御話ニナッタノデアルカ、サウデナカッタノデアルカ、此處デハッキリ伺ヒタイ

○風見政府委員 絕對左様ナコトハ申シマセヌ

○中村委員 絕對ニ申サレスト云フガ、何カソレニ觸レタ雜談カ何カナサッタコトガアリマスカ

○風見政府委員 御承知デセウガ、會見ノ場合ニハ勿論冗談モ言ヒマスルシ、假設ノ御話ニ對シテ、書記官長モ「スポークスマン」デスカラ、色々雜談スルコトガアリマセウガ、如何ナル雜談ノ場合デアッテモ、ア、云フヤウナ重大ナ際ニ、書記官長トシテ左様ナコトハ常識上絕對ニ言ヒマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○中村委員 サウ云フ用意ヲ以テ臨ンデ戴キタイ、ドウモ不用意ナ雜談ノ中ニ、サウ云フ誤解ヲ生ズルコトガ、アナタノ口カラ能ク出ルノデハナイカト思フコトガアル、是ハ是以上申シマセヌガ、實ニ重大ナルコトヲ審議シテ居ル際デアリマスカラ、

特ニ御注意下サルヤウニ御願シテ、私ハ是デ終リマス

○植原委員 是マデ政府當局ト再三憲法上ノ問題ヲ御話致シマシタガ、マダ判明セヌコトガアリマス、私ハ憲法第二章ノ臣民ノ權利、義務ヲ制限スル場合、或ハ剝奪スル場合ニ於テハ、法律ヲ以テスベキモノ、是ガ第一、戰時ト云フ非常ナル場合ニ於テハ、非常大權ノ發動モ已ムヲ得ナイコト、法律ト非常大權ノ發動ノ勅令ニ依ッテ出來マス以外ノコトヲ、勅令ニ依ッテスルト云フコトハ憲法ノ精神ニ悖ルモノデアル、斯ウ私共ハ解釋シテ居ル、之ニ付キマシテ、伊藤公ハ此點ニ付テ、尙ホハッキリト憲法第三十一條ノ規定ニ付テ述べラレテ居リマス、伊藤公ノ憲法義解ノ第三十一條ノ註釋ニ、斯様ナ意味ガ存在シテ居リマス、常變ト言ッテ居リマスガ、常變トハ事變ノ意味デアリマス「常變ノ際間ニ髮ヲ容ル、コト能ハス夫ノ時機ノ必要ニ非スシテ安ニ非常權ニ推托シ以テ臣民ノ權利ヲ蹂躪スルカ如キハ各國憲法ノ決シテ許サ、ル所ナリ」事變ノ場合、戰時ニ於テスラモ非常ナル注意ヲ要スル此非常大權ヲ行使スルニ付テ臣民ノ權利、義務ヲ制限、剝奪スルコトニ付テハ、十分ニ考慮致サナケレバナライ、非常權ニ推托シ

タリ、非常時ニ藉口シテ、人民ノ權利ヲ蹂躪スル、如キコトガアッテハナライ、是程迄ニ注意深ク註釋ヲサレテ居ル、而シテ只今問題トナッテ居リマスル所ノ國家總動員法案ハ、一部ハ準備ノ爲ニ、假ニ是ガ議會ヲ通過シテ成立セラレタトスルナラバ、實行サレナケレバナライモノデアリマセウ、一部ハ何トシテモ戰時ノ場合ノ外實行ヲ要シナイモノデアアル、此點ニ於テ企畫院總裁ノ御答辯ハ、是マデ時ニ依ッテ變ッテ居ッテ能ク判明致シマセヌ、政黨ニ來テ御説明ニナッタ時ニハ、此事變ガドウ長ク續イテモ、之ヲ使用スル意思ガナイト言フ、又時ニ依レバ使用シナケレバナライナイト云フヤウナコトヲ漏サレマシテ能ク分リマセヌケレドモ、政府ノ御眞意ハ、準備ニ關スルコトハ法案成立後、成べく早く準備ニ取掛ル、其他ノ戰時デナケレバ必要ノナイトコトハ戰時デナケレバヤラスト、斯ウ云フ御趣旨ガ此中ニ含まレテ居ルモノト思ヒマス、ソレナラバ戰時ニ關スルコトハ法律デモ出來、又已ムヲ得ナケレバ憲法第三十一條ノ非常大權デモ出來ル、ソレヲ是程迄ニ憲法制定者ガ苦心サレテ居ルコトヲ、事變ニ藉口シ、法律デ出來ルコトヲ勅令ノ白紙委任狀ヲ取ッテ、行政官憲ガ獨斷的ニ之ヲ行使スルト云フコト

ハ、何トシテモ憲法ノ精神ニ反スルモノト
私共ハ斷ゼザルヲ得ナイノデアル、サウ信
ズルヨリ外ニ憲法制定者ノ伊藤公ノ意思ヲ
付度シテ考ヘル途ガナイノデアリマス、之
ニ對スル司法大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイ

○鹽野國務大臣 臣民ノ權利ヲ束縛スルニ
ハ、法律ニ依ルベキモノデアルト云フコト
ガ憲法ノ第二章ニ書イテアル、是ハ憲法義
解ニ依ルト、第三十一條ノ大權ノ發動スル
場合ニ付テ、戰時ト申シテモ法律デ出來ル
コトハ法律デナケレバナラスゾ、大權ノ發
動スル場合ハ、極メテ危急非常ノ場合ニ限
ルノデアルカラ、此大權ヲ非常危急ノ名ノ
下ニ濫用スルヤウナコトガアツテハナラヌ
ゾト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、
隨テ臣民ノ自由財産ヲ制限、剝奪致シマス
ルコトハ、平時ニ於テハ勿論ノコト、戰時
ニ於テモ法律ニ依ツテ爲スベキコトデア
ル、此點迄ハ植原君ノ御議論モ亦政府ノ考モ一
致スル所ト考ヘマス、其考ガ一致シテ居
リナガラ、尙ホ本案ノ各條ニ「勅令ノ定ム
ル所ニ依リ」ト云フ、此勅令ニ付テ御疑問ガ
アルノデアリマス、併ナガラ度々申述ベマ
シタヤウニ、臣民ノ權利ヲ束縛致シマス
ルコトハ、本案ノ各條ニ於テ明ニ規定致シ
テアルノデアリマス、唯其規定スル所ノ義務

ヲ、幾分ナリトモ制限スル意味合ニ於テ、
「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト書イテアルノデ
アリマシテ、例ヘバ第四條ノ「政府ハ戰時ニ
際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業
務ニ從事セシムルコトヲ得」此趣意ハ言ヒ
換ヘテ見マスルト、戰時ニ際シ總動員上必要
アル時ハ、臣民ヲ徵用シ或ル業務ニ從事セ
シムルコトヲ得、但シ人民ヲ徵用シ業務ニ
從事サセル程度、方式ニ付テハ勅令ノ定ム
ル所ニ依ル、斯ウ云フヤウナ趣意ニナルノ
デアリマシテ、其委任サレタル勅令ノ内容
ハ白紙デアリマス、其白紙ヲ以テ種々ナル規
定ヲ致スコトハ、非常ニ不安ヲ感ズルト云
フコトニナルノデアリマセウガ、其白紙ノ
所ニ極度ニ之ヲ廣メテ見タ所デ、結局ハ本
文ニ書イテアリマスル徵用シテ業務ニ從事
セシムルト云フ程度以上ニハ行カナイノデ
アリマス、隨テ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト
特ニ書イテアリマスノハ、其程度、方法、種
類ト云フコトヲ勅令ニ讓ルト云フ程度ノモ
ノデアリマシテ、臣民カラ見マスレバ、徵用
サレテ業務ニ從事シナケレバナラヌト云フ
義務ヲ負ハサレタ、其程度ガ法律ノ本文ニ
於テ明確ニナツテ居リマスル以上ニ於キマ
シテ、何等命令ニ依ツテ義務ヲ負フコトハナ

イノデアリマス、併ナガラコ、ガ議論ノ岐
ル、所デアリマセウガ、其人民ニ負ハセル
義務ニ關聯スル手段、方法、程度ト云フモ
ノモ、義務ニ關聯スルコトデアルカラ、法
文ニ書イタ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御
意見デアアルノデアリマス、成程如何ニ煩雜
デアツテモ書ケルモノハ書クト云フコトモ、
一ツノ正論ト考ヘラレル、併ナガラ前カラ
申上ゲルヤウニ、戰時ニ於キマシテ種々ナ
ル事態ノ變化ニ應ジテ之ヲ變ヘテ行カナケ
レバナラス、臨機應變ニヤル必要ガ一面ニ
アル、又ソレヲ豫メ書クコトガ、對外的ニ
不利益ナコトモアルヤウナ事情カラ、根本
ノ義務ダケヲ明文ニ現ハシテ置イテ、他ノ
ソレヲ實際ニ行ツテ行ク方法ニ付テハ之ヲ
勅令ニ讓ル、斯ウ云フ趣意デ出來テ居ルノ
デアリマス、其勅令ノ内容ヲ四條ニ關係シ
テ考ヘテ見マス、從事スル事業ノ範圍ヲ
決メルトカ、或ハ徵用スル臣民ノ年齡ニ付
テ制限ヲシ得ル、或ハ特殊ノ技能者ニ付テ
特別ノ規定ヲ置クト云フダケノコトデアリ
マシテ、斯様ナヤリ方ハ種々學者ノ間ニ議
論ノアツタコトモアリマスガ、大體ニ於テ學
者間ニ於テモハ法律ノ基本ヲ決メテ、サ
ウシテ其範圍内ニ於テ命令ニ委任スルノデ
アルカラ、憲法違反デハナイノデアルト云

フコトガ通説ニナツテ居リマスシ、ノミナラ
ズ多年ノ間政府竝ニ此議會モ之ヲ承認致シ
マシテ、幾多ノ立法ガアルノデアリマス、
先例ガ惡ケレバ直スベシト云フ御議論ハ尤
モデアリマスガ、直スニハ餘リニモ多數ノ
先例ヲ持ツテ居リマシテ、昨年ノ臨時議會ニ
於ケル非常立法ニ於キマシテモ、同様ノ例
ヲ多々見ルノデアリマス、政府ト致シマシ
テハ此法案ノ性質カラ申シマシテ、ヤハリ
勅令ノ定ムル所ニ依ツテ、時宜ニ適スル方法
ヲ執ルノガ最モ適當ト考ヘテ居ルヤウナ次
第デアリマス

○植原委員 只今鹽野司法大臣ガ國家總動
員法ノ第四條ヲ實例ニ取ツテ御話ニナリマ
シタ「戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキ
ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シ
テ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得」斯ウ
云フコトヲ決メテ置イテモ差支ナイデハナ
イカト云フヤウナ御議論デアリマスガ、私
共ハコンナコトハ決メナクテモ、日本ノ國
民ハ覺悟シテ居ルノデハナイカ、日本國民
デ戰時ニ際シテ、國家ノ爲ニ必要デアルナ
ラバ、如何様ナコトニ從事スルコトモ私ハ
厭ハナイ、水火ノ中ニ投ズルコトモ決シテ
否ムモノデハナイ、是ガ國民ノ精神デア
ル、是ガ大和民族ノ他ト異ナル所以ダと思フ、

然ルニ斯ウ云フ規定ヲ作リマシテ、勅令ノ定ムルト云フヤウナコトニ致シマスレバ、八九千万ノ國民ガ僅カノ行政官憲ノ任意ニ依ッテ、何ヲサレルカモ分ラナイ、斯ウ云フコトガ起ラナイトハ保證ガ出來ナイノデアリマス、故ニ斯ウ云フ法律ヲ作ルナラバ、此勅令ノ範圍ニ示サレ得ルコトハ法律デ出來ルコトト私ハ思フ、ソレヲ法律デヤッテ何デ差支ガアルカ、ソレハ法律デスベキモノダ、コンナ廣範圍ナコトヲ勅令ニ委ネベキモノデハナイ、茲ニ私共ノ問題ガアルノデアリマスガ、ソレハ幾ラ言ッテモ議論ハ盡キナイト思ヒマスカラ、此程度ニ止メ置キマシテ、私ガ茲ニ政府ニ一ツ御尋シタイノハ、本法ノ第二條ニ於テ「總動員物資」トサレテ居ル其項目ノ一カラハマデハ分リマスガ、九ノ項ヲ加ヘテ之ヲ考ヘルト、又本法第三條ノ總動員業務ト云フモノニ掲ゲラレテアル所ノ八項目ノ次ノ九項目、之ヲ入レマシテ考ヘル場合ニ、私ハ斯様サ御尋ラシテ御答ヲ願ッテ置キタイ、此總動員物資ト、總動員業務トノ兩方合セテ考ヘテ見マシテ、國民生活全體ノ上ニ何カ殘リマスカ、物資デ何カ殘ル物資ガアリマスカ、又業務ノ上カラ行キマシテ、何カ殘ルモノガアリマスカ、私ハ何モ殘ラナイト思ヒマス、是ハ總テノ

國民ノ全生存權、全生活ニ及ボスモノデ、人間ノ生活ニ必要ナル所ノ物資ハ、全部悉ク此第二條ノ一カラ九マデニ包含サレルモノデアル、人生々活ニ於ケル、一國內ニ於ケル國民ノ一切ノ活動ハ、此三條ノ規定ニ依リマスル所ノ一カラ九マデノ中ニ綜括包含セラレルモノデアルト思フ、何一ツ私ハ殘ルモノガナイト思ヒマスガ、若シ此第二條ト第三條ノ上ニ於キマシテ、國民生活トシテ、人間生活トシテ必要ナル物資、必要ナル活動ニ付テ殘餘ノモノガアルナラバ、此場合ニ何ト何ガ此外ニ殘ルカラ何ッテ置キタイ

○鹽野國務大臣 御尋ノ第二條並ニ第三條ニ掲グル所ノ一號カラ八號マデハ分ルケレドモ、第九號ト云フモノハ勅令ヲ以テ指定スル必要ナル物資、必要ナル業務ト云フコトニナツテ、其勅令ガ判然シナイカラ、文字ノ上カラ言ヘバ、人民ノ生活ノ有ルモノガ總テ含マレルコトニナルデハナイカ、一應左様ニモ見ラレマスガ、併シ一カラ八マデノ間ニ、戰勝目的ニ動員スベキ物資並ニ業務ヲ掲ゲテアルノデアリマス、先ヅ大體是デ足リルダラウト想像ヲサレルノデアリマスルガ、是デ切ッテシマッタナラバ、國ヲ賭シテ戰フ其戰爭ニ於キマシテ、尙ホ不

十分ノモノガアツテハナラナイト云フノデ、其備ヘトシテ九號ヲ掲ゲテアルニ過ギナイノデアリマス、隨テ九號ノ勅令ノ内容トナリマスルモノハ、ヤハリ一號カラ八號ガ總動員ニ必要ナルモノデアルト同等ニ感ゼラレルモノガ規定サルベキデアリマシテ、人民ノ生活ノ全部ヲ茲ニ網羅スルト云フ意圖ハナイノデアリマス、斯様ナ法律ノ書キ方ハ、他ノ法律ニ幾多例ヲ見ル所デゴザイマ

ス ○植原委員 只今司法大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、此第二條、第三條ノ規定内ニ於テ物資ニ關スルコト、人間ノ活動ニ關スルコトハ、殆ド全部包容サレル、殆ド殘ルモノハナイ、併シソレハ皆戰時ノ場合ニ用ユル積リハナイ、多クハ一カラ八マデノ項デ宜シイ、萬一ソレデ漏レテ居ルモノガアツタ場合ニ於テハ、九ヲ適用スル意圖デ、九ト云フモノハ初マリカラ適用スル意圖ハナイノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ解釋スルコトガ、御言葉ノ上カラ至當ダト思フノデアリマス、併シ此法律ヲ運用スル人ハ誰デゴザイマセウ、帝國議會ノ協贊ヲ經テ——勅令デアルカラ左様ニハ參ラナイガ、是ガ立法行爲デ決メラレテ、サウシテ帝國議會ガ此勅令ト云フ文句ニ含マレテ居ルモノヲ法律トシテ協贊

ヲ與ヘルナラバ何ノ異存ハアリマセヌ、然ルニ白紙委任狀デアリマス、中ニ何ガ含マレテ居ルカ分ラヌ、而モ之ヲ行使運用スル者ハ行政官憲デアアル、御承知デアリマセウ、千九百三十三年ニ「ヒットラー」ガ授權法ヲ制定セシムル時ニハ、今日ノ如ク、アレガ極端ニ議會マデ否認シ、獨裁權ヲ握ッテ、獨逸國民ノ生命、財産モ「ヒットラー」一人ノ掌中ニ、自由自在ニスルト云フヤウナコト迄想到シテ居ッタリソナ意圖ヲ持ッテ居ラナカッタカモ知レヌ、併シヤレバヤレル、ソコニ危險ガアルノデス、私共ハ國民ヲ代表スル者トシテ、國民ガ安心シテ進メル所ニ立法ノ限度ヲ置カナケレバナラヌト思フ、只今本法ノ第二條ト第三條ノ規定ニ對シテ伺ッテ見レバ、物資ニ於テハ人間ノ生活全部ニ關スルモノ、是ハ唯其處ニ掲ゲテアル一カラ八マデハヤルケレドモ、九ハサウ使フ積リハナイト言フガ、誰ガソレヲ保證シマスカ、此法律ガ通過シテ、其運用ノ任ニ當ル人間ヲ現政府ガ監督シ、拘束シ、ソレニ掣肘ヲ加ヘルコトガ出來マスカ、議會ハ既ニ手ヲ離シテシマフ、如何ニ之ヲ巧ニ説明ナサル政府デアツテモ、其政府ハ其時ニハ居ラス、サウシテドンナ人が出テ來ルカモ分ラス、ソレハ過去數年ノ間ノ内閣ヲ見テモ、

色々ノ人ガ出テ來ル、現内閣ハ信頼出來ルガ、或ル内閣ハ全ク信頼出來ナイヤウナコトヲスル、故ニ今ノ政府ガドウ言明ナスツタ所デ、私共ハソレニ信頼スルコトハ出來ナイ、法文ノ上デ國民ガ安心シテ行ケル所ノ途デナケレバナライ、ソレニハ勅令デ定メルコトハ、法律デ定ムベキコトデアリ、而シテ非常時ノ場合ニ千變萬化ノ昨日ノ總理大臣ノ御言葉ノ如ク千變萬化、其千變萬化ノモノヲ、而モマダ何時使フカ分ラナイモノヲ、茲ニ白紙委任狀ヲ取り、國民ノ代表者タル吾々ガ渡スト云フコト程、國民ニ對シテ不安ヲ與ヘ、國家ノ前途ニ對シテ危険ヲ及ボスコトハナイノデアアル、ソコデ是ハ戰時ニ於テハ第三十一條デモ出來ルシ、第八條ノ緊急勅令デモ出來ルコトダ、至急ニヤリタケレバ——、帝國議會ハドンナ重要ナコトデモ三日デ決メタコトガアル、臨時議會ヲ開イテ置ケバ、通常議會ト違ッテ臨時議會ハ期限ナク開カレルカラ、ドウ云フコトヲ豫想シテモ、私共ノ立場カラ言ヘバ、國民ニ安心ノ行クヤウニ、千變萬化ノ戰時ニ處スルコトガ出來ル、憲法第二章ノ精神ヲ遵奉スル意味カラ言ヘバ、此總動員法ハ危險デアッデ、憲法ノ精神ニ反シテ居ルモノデアアル、斯ウ解釋スルヨリ致シ方ナシ、今

司法大臣ノ御言明ニ依ッテモ、此法律ノ第二條、第三條ニ於テハ國民生活ノ全部ヲ包容スル、殘ルモノハ何モナイ、其國民全部ノ生活ヲ包容スル重大ナル所ノモノニ對シテ、行政官憲ニ白紙委任狀ヲ渡ス、是ハ私ハ非常ニ危険ナコトデアルト思フ、憲法ノ解釋ヲ離レテ、政府ノ立場デナク、之ヲ國民ノ立場デ考ヘル場合ニ、是ガ危険デナイ、安全デ、是デ満足シテ行ケルト云フ御考ガ出ルカドウカ、私共茲ニ非常ナ不安ガアルノデアリマスカラ、此不安ヲ政府ガ除イテ國民ニ納得ノ出來ルモノナラバ、私共總動員ノ趣意ニハ賛成デアルカラ、決シテ異議ヲ申スモノデハナイガ、私共ハドウシテモ茲ニ非常ナル不安ガ存在スル、之ニ對スル政府ノ御所見ガアルナラバ、此場合ニ承ッテ置キマス

○鹽野國務大臣 尙ホ第二條、第三條ニ掲ゲル所ノ第九號ノ説明ニ付テ補足ヲ致シマスルガ、此物資若クハ業務ト申シマスノモ制限ガアリマシテ、國家總動員上必要ナル物資若クハ業務トナッテ居ルノデアリマス、詰リ國家總動員上必要ナル業務若クハ必要ナル物資ト云フコトニナッテ居リマスノデ、何デモ臣民ノ中カラ取上ゲルト云フ譯デモアリマセヌ、元來ガ戰勝ノ目的ヲ達スル爲

ノ國家總動員デアリマスカラ、屢言ハレル通りニ、我ガ國民ハ戰時ノ際ニ於テハ、全力ヲ擧ゲテ國家ノ爲ニ盡スデアラウ、此觀念ガヤハリ此法律ニ對シテハ、向ケラレルベキモノデアッデ、何等不安ヲ感ズルト云フヤウナコトハナカラウト思ヒマス、ドウモ話ガグル——變リマスルガ、結局各條ノ本文ニ於キマシテ、戰爭ノ際ニハ國民ハ是ダケノ義務ヲ負フゾト云フコトガ明記シテアルノデアリマス、唯其方法、順序等ニ付テ勅令ニ讓ッテ置クニ過ギナイノデアリマスカラ、國民ガ非常ニ國ノ爲ニ盡スト云フノデアリマスカラ、九號ノ如キ規定ガアッデモ、何等不安ヲ感ズルヤウナコトガナカラウト思ヒマス、又一面ニハ國民ガ國家ノ爲ニ忠勇義烈ノ精神ヲ持ッテ居ルカラ、其時ニナッテカラ緊急勅令ナリ、非常大權ノ發動ヲ御願スレバ宜イデハナイカト云フ御説モ聞イテ居リマスケレドモ、ソレハ本案ヲ提出致シマシタル理由トシテハ、豫メ此準備ヲシテ置クト云フコトニ依リマシテ、其忠勇義烈ナル國民ノ力ヲ無駄ナク之ヲ使フコトガ出來ル、國力ヲ最高調ニ出サセルト云フコトニハ豫メ其方向ヲ示シテ置イデ、サウシテ戰爭ニ臨マウト云フ準備ガ非常ニ必要デアルト感ズルノデアリマシテ、火事場ニ

於キマシテ非常ナ力ヲ出ス者モ、戸惑ヒスルヤウナコトガアッテハ何ノ役ニモ立タヌカト考ヘルノデアリマス、ドウゾ本法ノ趣旨ヲ御諒解願ヒタイト考ヘル次第デアリマス

○植原委員 私共ハ勅令ニ定ムル時ニモ、行政官憲ノ認定デ決スル、又此九號ノ内容ヲ決定スルノモ行政官憲ノ獨斷專行デ決スル、是ガ神様ノ如クニ過チナキモノデアルナラバ何ニモ異存ハアリマセヌ、國家總動員ノ解釋モ行政官憲ノ認定、勅令ノ範圍モ行政官憲ノ認定、第九項ノ内容ヲ定メルノモ行政官憲ノ認定、茲ニ危險ヲ感ズルノデアリマス、緊急勅令トカ非常大權ノ發動ニ依ッテ勅令ヲ定ムル場合ニハ樞密院ガアリマス、法律ヲ定ムル時ニハ議會ガアリマス、斯様ニ衆智ヲ集メテ物ヲ決スルコトガ出來マスガ、此法律ガ一度議會ヲ通過致シマスレバ、專斷的ニ此ノ法文ノ解釋ハ全部行政官憲ガスルノデアリマスカラ、其處ニ私共ハ危險ヲ感ズルノデ、其根本ニ於テ司法大臣ト私ト見解ヲ異ニスルト申スヨリ致シ方ガナイ

次ニ私ハ斯ウ云フ御尋ヲ致ス、此國家總動員法ガ實施セラレ、之ニ附隨スル所ノ勅令ヤ命令ガ合法的ニ、而モ合理的ニ最小限度ニ運用サレル場合ヲ想定致シマシ

テ、其場合ニ憲法第二章ニ規定セラレル所ノ臣民ノ權利、自由ニ付キ、ソレ以上制限若クハ剝奪セラルベキモノト想定セラル、モノガ、何等カ存在スルカ否カ、斯ウ云フコトデアリマス、此總動員法が實施セラレテ、之ニ附隨スル勅令デモ、命令デモ總テ合理的、合法的ニ出來マス、ソレガ最高限度ニ法律ノ意味ガ發揮セラレ、場合ニ、憲法第二章ニ規定サレテアル非常大權ヲ行使シテ、サウシテ臣民ノ權利、義務ヲ拘束シナケレバナライヤウナ事項ガマダ殘ッテ居ルカドウカ、サウ云フコトガ殘ッテ居ルト想定セラレルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○鹽野國務大臣 非常大權ガ發動スル餘地ガ殘ッテ居ルカドウカト云フ御尋ト聽キマシタガ、是ハ戰時ニ於テ非常ニ模様ガ變ッテ、總動員計畫ノ豫想シタル狀況以外ノ事態ガ、突發的ニ變ルト云フコトモナイトモ限リマセヌ、大抵ハ總動員法並ニ之ニ附屬スル勅令ニ依ッテ、處置出來ル用意ヲシテアリマスケレドモ、尙ホ事態ノ變遷ニ依リマシテ、非常大權ノ發動ヲ御願シナケレバナラヌ事モアルカト想像セラレルノデアリマス

○植原委員 非常ニ事態ガ變ルト云フコトヲ想像サレヌ限リハ、總動員法ヲ最大限度

マデニ運用スル場合ニ於テハ、全部臣民ノ權利義務ニ關スルコトニ付テハ取扱ガ出來ル、勿論司法大臣ノ言ハレル通り事態ガ急變シタ場合ニ於テハ、或ハ非常大權ノ發動ヲ見ルコトガアルカモ知レナイガ、先ヅ大概出來ル、其處ニ私共ノ問題ガ殘ッテ居ルコトヲ御承知願ヒタイ、私共ハ戰時事變ニ於テハ、非常ニ急變ヲ要スル場合ニ於テハ、非常大權ノ行使ニ依ッテ萬已ムヲ得ズ之ヲ致スノデ、其他ノコトハ法律デ出來ル、斯ウ云フ解釋ヲ取ッテ居リマスガ、今ノ司法大臣ノ御答ニ依リマスレバ、憲法第三十一條ニ規定サレテアル大權ノ事項ノ範圍ニ、此國家總動員法案ハ踏ミ込シテ居ルモノデアルト云フコトニシカ解釋ハ出來ヌト思フノデアリマス、ソレデ次ノ質問ヲ私ハ致シマス

戰時又ハ事變ニ於テ憲法第三十一條ノ非常大權ガ發動サレル場合ニ、此總動員法が存在セザレバ、全國民ノ全能力ヲ發揮セシムルニ支障ヲ生ズル虞アリト想定サレル所ノ事項ガアルカナイカ、之ヲ伺ヒタイ

トナラバ立法ニ依ッテ準備ヲ致シテ置ク、ソレガヨリ效果的デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、戰時ニ於ケル事項ヲ立法致シマシテモ、何等非常大權ヲ妨ゲルモノデハナイノデアリマスカラ、只今カラ想定致シテ立法致シテ置キマシタコトハ、事態ノ變化ニ依リマスレバ、或ハ間ニ合ハナイデ非常大權ヲ御願スルコトモアリ得ルノデアリマス、併ナガラ成ベク左様ナコトノナイヤウニ準備ヲスルコトガ、政府ノ責任ト考ヘルノデアリマシテ、然ラバ法律デ皆規定シテ置イテ、大權ノ發動ノ餘地ヲ存セナイヤウニスルノガ怪シカラヌデハナイカト云フヤウニ御考ヘニナリマス、其處ハ違フノデス、決シテ大權ノ發動ヲ妨ゲル積リデ規定ヲスルノデハナイノデアリマシテ、戰時ニ於ケル事項モ、立法ノ出來ルコトハ立法デヤッテ宜シイト云フコトガ、憲法ニ謳ッテアルコトデアリマス、併ナガラ大權ハ大權デ、立法ニハ關係ナク發動スルゾト云フコトヲ御示シニナッテ居ルノデアリマスルカラ、此立法ト非常大權トガ互ニ領域ヲ爭フト申シマスカ、侵シ合フト云フヤウナコトハ毫モノイノデアリマシテ、大權ハ圓滿無缺ニ發動サレルノデアリマス、法律ハ平時ニ於キマシテ其手續ヲ經テ、サウシテ人民ニ豫

メソレヲ示シテ置クト云フ爲ニハ、法律ニ依ルノガ立憲的デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○青木政府委員 只今ノ植原サンノ御尋ニ付キマシテ、國務大臣ノ説明ヲ若干補充シテ置キタイと思ヒマス、先程ノ御尋ノ御趣旨ハ、本法ガ最高度ニ機能ヲ發揮シタ場合ニハ、是デモ尙ホ觸レルコトノ出來ナイ憲法第二章ノ自由權ノ餘地ガ殘ッテ居ルカト云フ御趣意ノ點ガアツタヤウニ伺フノデアリマシテ、其點ニ付キマシテハ、本法ハ大體ニ於キマシテハ憲法第二十七條ノ所有權ノ關係ノモノガ中心ニナッテ居リマシテ、ソレニ本法ノ作用ニ依リマシテ、若干第二十二條ノ居住移轉ノ自由、或ハ第二十九條ノ言論著作等ノ自由、是等ニ觸レテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマスガ、併ナガラ第二章ニ列記シテアリマスル自由權ノ中デ、本法ガ如何ニ最高度ニ發動致シマシテモ、觸レルコトノ出來ナイモノハ多數ゴザイマス、其例ヲ申上ゲマス、第十八條ノ臣民タル要件ヲ定メルコト、第十九條ノ公務ニ就クコトノ權利、第二十條ノ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナキ權利、第二十四條ノ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權利、第二十六條ノ信書

ノ秘密ヲ侵サル、コトノナイ權利、第二十
八條ノ信教ノ自由ニ關スル問題、第三十條
ノ請願ノ自由、是等ニ付キマシテハ本法ガ
最高度ニ機能ヲ發揮シタ場合ニ於テモ、是
ハ觸レルコトガ出來ナイコトニナツテ居リ
マス

○植原委員 ソレハ青木政府委員御間違ヒ
デハアリマセヌカ、勅令デヤラウトスレバ、
此總動員法ヲ最高度ニ使ヘバサウ云フコト
モ出來ルト私ハ思ヒマス、國家非常時ノ場
合ニ勅令デ左様ナコトガ出來ルト決メマシ
タナラバ、此總動員法ガ通過シテ法律トナッ
タ曉ニハ、更ニ差支ナイ合法的ニ行クコト
ダト私ハ考ヘテ居リマス

○青木政府委員 政府ハ左様ニ考ヘテ居リ
マセヌノデゴザイマシテ、本法ニ基ク勅令
ヲ以テシテハ、私ノ申上ゲタヤウナコトハ
侵スコトガ出來マセヌ、是コソ先般來御話
ノアリマシタ第三十一條ノ非常大權ニ依ラ
ズンバ、ソレハ出來ナイト考ヘテ居リマス
○植原委員 政府ガ出來ル 出來ナイト言ッ
テモ、只今デモ信教ノ自由モ、隨分内務省
ノ考ニ依ッテ其自由ヲ拘束ショウトスレバ
出來マス、居住ノ自由モ隨分拘束出來マス、
今日モ事ハ違ヒマセウケレドモ、隨分或ル
政府ノ官憲ニ依ッテハ、當然分ッテ居ル政黨ノ

本部ニ暴徒ヲ入レテ攪亂スルコトモ出來ル
ヤウナ狀態ニナルノデ、官憲ガ或ル勅令ヲ
定メテ、國家非常時デアル、總動員デアル、
斯ウ云フ意味ニ於テ、人民ノ權利ハ是ダケ
ニ決スル、居住ハ此程度ヨリ動クコトハ出
來ナイ、斯ウ云フ考ヨリ持ツコトハ出來ナ
イト決メレバ、私ハ出來ルト思ヒマス、併
シ是ハ議論シテモ致シ方ガアリマセヌ、私
共ハ此法律ヲ議スルニ當リマシテ、今ノ政
府ノ考ハ參考ニ聽キマスヨ、ケレドモ此法
律ヲ運用スル時ニハ、運用スル人ガ別ナ人
ガアルト云フコトヲ、私共想定セザルヲ得
ヌノデアリマス、隨テ此法文ノ上カラ合法
的ニ、合理的ニドノ程度マデ出來ルカト云
フコトヲ考ヘナケレバナライコトヲ、御
諒承ヲ願ッテ置キマス

次ニ質問ヲ致シマスガ、本法第五十條ニ
掲ゲテアリマスル國家總動員審議會ト云フ
モノデアリマスガ、是ハ諮問機關デアリマ
セウ、議決機關デハナイト法文ノ上ニ現ハ
レタコトカラモ解釋サレマス、隨テ此審議
會ナルモノハ、政府ノ從來ノ諮問機關ノ審
議會ニ微シマスレバ、形式的ノモノデ何等
實權ヲ握ルモノデナイ、行政官ガ斯様ナ勅
令ヲ定ムル、獨斷的ニ其規定ヲ作ル、形式
的ニ諮問機關ニ掛ケル、諮問機關ガ異議ヲ

言ッテモ、反對シテモ問題デナイ、政府デ之
ヲ實行ショウトスレバ、必ズ實行出來ル、
唯道德的ニハ諮問機關ニ掛ケテ、多數反對
シタ場合ニハソレガ出來ナイト仰シヤルカ
モ知レヌケレドモ、權力ヲ持ツ政府ガヤラ
ウトスレバ、決議權ノ與ヘラレテ居ライナ
一種ノ諮問機關ニ對シテハ、何事デモ出來
ル、唯此審議會ト云フモノハ謂ハバ氣休メ
ダ、胡麻化シダ、政府ガ獨斷專行ヲスルノ
デハナイ、諮問スル所ノ審議會ダ、貴衆兩
院議員其他ノ學識經驗ノアル者ヲ網羅シテ
作ッテ居ル、ソレ故ニ行政官ハ獨斷專行ハ致
サナイト云フノデ唯「カムフラージュ」スル
ダケノモノ以外ニハ、意味ガナイモノト諒
解致シマスガ、此點ハ如何デゴザイマスガ

○鹽野國務大臣 五十條ノ審議會ハ諮問機
關デアリマス、隨テ極端ニ申シマスレバ御
話ノヤウナコトモアルカモ知レスト一寸考
ヘラレマスガ、是ハ貴衆兩院ノ議員並ニ知
名ノ士ヲ選、招イテ諮問致スノデアリマスガ
ラ、時ノ政府ト致シマシテモ、十分其意見
ヲ尊重スルコトヲ考ヘマス、諮問機關ト云
フト、飾リ物ミタヤウニ御考ニナルト云フ
コトハ如何ナモノデゴザラウカト思ヒマス
○植原委員 總テノ此法案ニ豫定サレテ居
ル所ノ勅令ハ、此諮問機關ニ御諮リニナル

ノデアリマスガ、或ハ此部分ハ入ルトカ、
此部分ハ入ラヌトカ云フコトガ前提サレル
ノデアリマスガ、勿論軍機ノ秘密ニ關スル
コトハ除外サレルコトハ豫メ諒承シテ居リ
マスガ、其他一切ノ勅令命令ハ此諮問機關
ニ御諮リニナルノデアリマスガ

○鹽野國務大臣 本法施行ニ關スル重要ナ
ル事項ニ付キマシテハ、諮問機關ニ諮問致
スノデアリマス、其諮問ノ事項ヲ、政府ノ
方デ勅令ニ立案致スト云フコトニナリマス
ルカラ、勅令其モノヲ諮問スルト云フコト
ハナイノデアリマス

○植原委員 政府ノ御考ニナル重要ナル事
項、ソレモ政府ノ御認定デ定マルコトデ、
其重要ナル事項ニ對シテハ、何人モ政府ノ
所見ヲ左右スルコトハ出來ナイノデアリマ
ス、隨テ此諮問機關ニ掛ケルモ掛ケナイモ、
是ガ重要デアル、重要デナイト云フコトヲ
決定スルコトモ、一切政府ノ認定ト任意デ
定マルコトデアリマスガ故ニ、先刻私ガ申
上ゲタ通り、此諮問機關ト云フモノハ、殆ド
胡麻化シノ、一時ノ氣休メノ無意味ナモノ
デアルト云フ結論ニスラ到達セザルヲ得ナ
イノデアリマス
次ニ内務大臣ニ御伺致シタイ、現在ニ於
テハ言論、文章ニ對スル政府ノ取締ハ、嚴

ニ過ギテ居ルヤウニ私共考ヘマス、此總動員法ニ依ッテ希望セラレル方向ノ恰度逆ニ動イテ居ルノデハナカラウカ、言論機關ニ對シテ餘リニ酷ナル取締ノ爲ニ、若シ此國家總動員法案ガ實施サレニ至レバ、更ニ言論、集會、結社ニ對スル取締ニ拍車ヲ掛ケルコトハ疑ナカラウト思ヒマス、人ノ心理狀態ハ極ク自然ニ任シテ置キマスレバ、頗ル從順ナルモノデアリマスガ、無理ヲ強イラレ、バ却テ反撥シ、全ク逆ノ結果ヲ生ズルト云フコトハ天下ニ其類例ハ少クアリマセヌ、現在我國ノ新聞ヲ見マシテモ、支那事變ヤ、國際關係ニ付テハ、一ツノ政府デ統轄シテ居ル通信社ノ種ニ依ッテ居リマスガ故ニ、物ノ一面ダケシカ見ルコトガ出來マセヌ、毎日見ル新聞雜誌デアリマセヌガ、私共外國カラ來ル新聞或ハ新聞ノ切抜キ等ヲ見マシテ、斯ウ云フコトモ其時ニアッタノカト思フ位デアリマシテ、而モ其當時ノ日本ノ新聞ヲ見マシレバ、殆ド何モナイ、暫クシテカラ何處カラカ、其事ノアッタコトヲ知ルコトガ屢デアリマス、隨テ今日ハ日本ノ國民ハ、此非常時局ニ對スル認識サヘモハッキリ致スコトガ出來ヌ、唯長期應戰、是ダケヲ知ッテ居ル、國際關係ニ付テモ洵ニ漠然タルモノヲ知ッテ居ルノミデアリマス、今ハ全ク

國際關係ニ對シテハ祕密デアッテ、國民ノ嚮フ所ハ分ラナイ、實ハ先日陸軍大臣カラノ御話デ伺ッタコトナドハ、皆常識デ分ッテ居ルヤウナコトガ多イ、何故斯ウ言論文章ヲ取締ッテ國民ヲシテ見セマイ、聽カセマイト云フヤウナ御取扱ヲナサルノデセウ、日本ノ國民ハソレ程無學文盲デアリ、ソレ程無智デアリ、ソレ程世界ノ知識ニ缺ケテ居ルモノデアリマセヌ、或ル程度ノコトヲ知ラセテ、判斷サセル方ガ正シイ判斷ガ出來ルト思ヒマス、是等ニ對シテ內務大臣ハドウ御考ニナッテ居ルカ、眞ニ國家ノ非常時ヲ知ラシムルコトハ、國民ニ其非常時ヲ判斷出來ルダケノ材料ヲ供給スルト云フコトダト思フノデス、一方ダケヲ聞カセテ、ソレデ國民ガ安信スルト云フ御考ヲ持ッテ居ルナラバ、ソレハ間違ヒデアリマス、一ツノ通信社カラ今日新聞社ニ材料ガ與ヘラレテ居ル爲ニ、ドノ新聞ヲ見デモ殆ド國際關係、外交記事ニ關スルコトハ日本ノ新聞ハ同一デ、新聞ガ一ツニナッテ居ルヤウナ感じガスルノデアリマス、新聞ガ澤山アッテ、サウシテ色々ノ記事ガアッテ、ドレガ本當デアルカ、ドレガ正シイカラ今日判斷出來ナイヤウナ日本ノ國民デアリマセヌ、相當ニ事實ニ依ッテ物ヲ間違ナク判斷ノ出來ルヤウナ

國民ニナッテ居ルノニ拘ラズ、如何ニモ言論文章ノ取締ガ嚴重デ、國內ニハ分ラナイ爲ニ不滿ノ空氣、不穩ノ空氣ガ醸成サレテ居リマスガ、是ハ刻下ノ非常時ニ對シテ、私ハ非常ニ残念ナコトデアルト思フ、寧ロ限度ハアリマセウ、緩急宜シキヲ得ナケレバナリマセヌ、限度ハアリマセウケレドモ、今ノ取締ハ酷デアル、行過ギデアル、却テ政府ガ考ヘテ居ルト反對ニ、暗流ノ方ニ於テ非常ナル所ノ危險ナルモノガ動イテ居ルヤウニ、私共感ゼラレル、此總動員法デモ出來マシタナラバ、更ニ之ニ拍車ヲ掛ケテ、折角國民ガ國家ノ非常時ノ爲ニ、緊張シテ舉國一致デ行カウト思ッテ居ル時ニ、逆ニ舉國一致ヲ破ルヤウナコトガアリハセヌカ、是等ニ對シテ內務大臣ハドウ御考ニナッテ居ルカ、現在ノ言論ノ取締ハ寧ロ行過ギデハゴザイマセヌカ、其爲ニ不安ナ空氣ガ一層昂マッテ居ル傾ガアル、內務大臣御承知デスカ、更ニ此總動員法案ガ成立致シマシタ場合ニ於テハ、ソレニ拍車ヲ掛ケル、舉國一致ヲ求メテ舉國一致ヲ害スル、國民ノ發展ヲ希望シテ國民ヲ萎縮セシムル、斯ウ云フ傾向ヲ生ズルモノト考ヘルガ、內務大臣ハ之ヲドウ御考ニナッテ居ルカ、內務大臣ハ先日ノ政友會本部ニ關入シタル暴徒ニ對シ、又今日安部

サンニ負傷ヲ與ヘタ所ノ暴漢ニ對シテノ御答辯ヲ聽キマシテ、私ハ內務大臣ノ誠意ハ疑ヒマセヌ、本當ニ內務大臣ハ衷心國家ノ爲ニ御考ニナッテ、斯ウ云フコトノナイヤウニ誠心誠意取締ッテ居ラレルト思ヒマスガ、併シナガラ部下ガ思フヤウニナラス、內務大臣ハ就任早々ニ於テ人事行政ヲ誤ッタ、是ハ疑ノナイコトデアル、洵ニ私ハ誠心誠意國家ノ爲ニ當ラレル末次內務大臣ニ御氣ノ毒ニ思フ、世ノ中ト云フモノハ斯ウ云フモノデス、上デドウ考ヘテモ、下ガ思フヤウニナラナイ時ガアル、ソレト同ジダ、言論文章ノ取締ト云フモノニ對シテハ、內務大臣ガ相當ノ御考ヲ持ッテ居ッテモ、其部下ノ者ガ何ヲシテ居ルカ分ラナイト云フコトニナレバ、洵ニ危險ナコトニナルモノデアリマスガ、國家總動員法案ヲ審議スルニ當ッテモ、此言論文章ヤ集會ニ關スル取締ノコトヲ考慮スレバ、非常ナ不安ノ念ニ侵サレルモノデアリマスガ、之ニ對スル內務大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイ

○末次國務大臣 只今言論ノ取締ニ關シテ、現在當局ノヤッテ居ル取締ハ苛酷デアラウ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、內務省トシマシテハ、治安ニ關シマスルコトハ內務省ガヤルノデアリマスガ、軍事、外交、又現

ニヤッテ居リマス財政經濟ト云フヤウナモノハ、各省ノ要求ニ依リマシテ、内務省ガ其取締ノ實施ヲ擔當シテ居ルト云フ狀況デアリマス、今マデヤッテ居リマスコトガ、苛酷ニ見エル點ガアルカモ知レマセヌガ、又一面カラ言ヒマス、斯ウ云フ規定ガアリマシテモ、尙ホ此違反者ガ非常ニ多イノデアリマシテ、其實例ハ幾ラデモ玆ニ御話ガ出來ルノデアリマス、唯斯ウ云フコトハ若干免レ難イト思ヒマス、最高ノ方針ガ斯クアルベシト決ッテ居リマシテモ、直接其仕事ヲ擔當シテ居リマス者ハ、或ハ之ヲ狭ク解釋シ過ギタリ、或ハ之ヲ廣ク解釋シ過ギタリ致シマシテ、動モスレバシツクリ立法ノ精神ニ合ハナイコトガ絶無トハ言ヘマセヌ、其點ニ付テハ非常ニ私モ遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトノ無イヤウニ非常ニ頭ヲ悩マシテ居ルノデアリマス、今回ノ總動員法ノ第二十條ノ規定ハ改メテ申上ゲル迄モナク、現在ヤッテ居リマスコトヲ此處ヘ法文化シタノニ過ギナイノデアリマシテ、新聞紙法ノ第二十七條ト、第二十七條ノ範圍ニ含マレナイモノデ現ニヤッテ居リマス金融財政ニ關スルコトト云ツタヤウナコトヲ、法文ノ規定ニ依ッテ取締リ得ルヤウニ、此處ヘソレヲ併セテ書イタノデアリマス

ス、此條文ガ出マシタカラト云ツテ、今マデヤッテ居リマスヨリモ、特別ニ苛酷ナ取締ヲスルト云フヤウナコトハ、毛頭考ヘテ居リマセヌ

○植原委員 取締ニ苛酷ナドト云フコトガアツテハナリマセヌ、嚴重ナコトハ兎ニ角、苛酷ナドト云フコトハ、ドンナ場合ニデモアツテハナラナイガ、ソレハ御言葉ノ行掛リト

思ヒマスカラ、敢テ御咎メハ致シマセヌ、ケレドモ内務大臣ハ自分ノ考ガ中々下ニ旨ク徹底シナイモノデアルト云フコトヲ御認メニナリマシタガ、洵ニ其通りデ、ソレヲ御認メニナツタコトハ、私ハ結構ナコトダト思ヒマス、ソレダカラ中々思想トカ言論トカ云フモノノ取締ハ、非常ニ難カシイモノデアル、一定ノ方針デヤッテ居リマシテモ、下僚ノ者ガ上ノ者ノ意向ノ通りニ動カシイ場合ニハ、逆ナ結果ヲ生ズル、國家總動員ノ爲ニ國民ヲ一致セシメナケレバナラナイト云フノデ、外交問題デモ祕シ隠シスル、財政ノ問題デモ爲替ニ動搖ヲ來シテハイケナイト云フノデ、無理ニ取締ヲスル、サウ云フコトハ逆ナ結果ヲ生ズル、ソコニ爲政者タル者ハ非常ナ注意ヲ要スルト云フコトヲ、私ハ申上ゲタイ爲ニ質問致シタノデアリマス

次ニ私ハ海軍大臣ト陸軍大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、此場合ニ折角デアルカラ企畫院總裁ニ、一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス、企畫院總裁ハ貴族院ノ國家總動員法ニ對スル調査研究ノ場所ニ於テ、日本ノ今日ハ非常ナ場合デアルカラ、憲法論ナンゾハ彼此レ

言ッテ居ルベキ秋デナイト仰セアツタト云フコトガ、新聞ニ漏レテ居リマシタガ、左様ナコトハ無イト言ハレタサウデ、サモアルベキコトト思ヒマス、其辯明ノ時ニ御言ヒニナツタコトガ新聞ニ出テ居リマス、ソレヲ今讀上ゲマスガ、其通り受取ッテ宜シイカドウカ、「アノ會合ニ於テ色々憲法論ノアツタ後デ、私ハ歐洲戰後ノ例ニ鑑ミテモ、戰線カラ歸還シタ將兵ガ本國ノ有様ヲ見テ、非常ニ不平不滿ヲ感じ、露西亞、獨逸、伊太利等デハ此不平不滿ガ爆發シテ、革命騒ギ迄起キテ居ル事實ガアルノデ、斯様ナ不平不滿ヲ無カラシメタイトノ道義的根據カラ本案ノ立案ヲシタノデ、其氣持ヲ説明シタガ、憲法論ヲスベキニアラズナドトハ決シテ言ウタコトハアリマセヌ、又所有權ト云フ言葉モ一言モ言ツタ覺エハナイ」斯ウ出テ居リマスガ、此大體ハ御話ニナツタコトデゴザイマセウカ

○瀧政府委員 大體其通りデゴザイマス、サウシテサウ云フコトヲ考ヘテ立案シタト云フノデハナシニ、サウ云フコトモ立案ノ基礎ニナッテ居リマス、斯ウ言ツタノデアリマス、全ク憲法論ナドハスル秋ニアラズト云フコトハ言ッテ居リマセヌ

○植原委員 只今私ガ讀ミマシタコトガ、立案ノ一ツノ氣持デアルトスルナラバ、是カラ私共ハ斯ウ云フコトガ含マレテ居ルコトヲ判斷致サナケレバナラヌ、歐羅巴ノ戰爭ノ後ニ露西亞ヤ伊太利ヤ獨逸ハ革命騒ギヲ起シタ、日本ニモ此事變ノ後、サウ云フコトガアツテハナラナイト思ッテ、此總動員法案ヲ作ル一ツノ氣持ヲ持ッテ居ツタ、斯ウ解スルヨリ外ニ解スル途ハ絶對ニアリマセヌ、何ト御辯明ニナツテモ、何ト釋明サレテモ、玆ニ現レテ居ルモノカラ正シク判斷スルナラバ、又行間ヲ正シク讀ムナラバ、ソレヨリ外ニ途ハナイノデアリマス、サウスルト此總動員法ハ、戰時若クハ戰時ニ準ズル爲ニ作ツタノガ唯一ノ目的ナリト私共思ッテ居ル、然ルニソレデナクテ、歐羅巴戰爭後ニ露西亞ヤ獨逸ヤ伊太利デ革命ガ起ツタカラ、其コトモ考ヘテ、此事變ノ後ニ日本ニ於テモサウ云フ不平等不滿ガ起ツテ、國內ニ騷擾デモ起シテハナラナイ、豫防ノ爲ニ總動員法案ヲ作ツタモノダト云フ意味ガ、含マ

レテ居ルト解釋致スヨリ仕方ガナイ、私ハ
ソシナ意味ガ含シテ居リハセヌカト思フ、
又サウデナケレバ此言葉ハ出マセヌ、ソレ
デ私ハ總裁ニ此新聞ニ出テ居ル記事ハ、大
體ニ於テアナタノ御話デスカト念ヲ押シテ
伺ヒマシタ、其通りダ、然ラバ是カラ出テ
來ル所ノ推論ハ、左様ナコトニナルノデハ
ナイカ、是ガサウデナイト申スナラバ伺ヒ
タイ

○瀧政府委員 ソレハ斯ウ云フ話ヲシタノ
デアリマス、戰時ニ於テハ一方ニ於テ樂ヲ
スル人ガアリ、一方ニ於テハ非常ニ艱苦ニ
苦シム人ガアリ、或ハ死傷者ガ出來テ來ル、
又一方ニ於テハ特殊ノ工業ニ從事スル爲ニ、
金儲ケヲスル人モアリ、一方ニ於テハ工場
ヲ閉鎖セナケレバナラヌ程、悲境ニ陥ル人
モアル、斯ノ如ク不公平ガアルト云フコト
ガ、不平不滿ノ因ニナリマスカラ、成ベク
不公平ノナイヤウニ、皆ガ一樣ニ犠牲的精
神ヲ發揮シマセウト、斯ウ云フ意味デ道義
的基礎ノ下ニ立案シタノデアリマス、是ガ
筋ナノデス、其不公平不滿ヲ起ス因ノ不公
平ヲ放任シテ置クト、歐洲ノア、云フ騷動
ヲ起シタ例モアリマスカラト、歐洲ノ方ハ
其處ヘ附加ヘタノデアリマス、私ノ申シマ
シタノハ不公平ノナイヤウニト云フコトガ

話ノ筋デ、サウ言ッテコトハ事實デアリマス
ト云フノハ、今申シマシタガ、話ノ筋ハ不
公平ノナイヤウニト云フコトガ、道義的ノ
基礎デアリマス、斯ウ云フコトナノデア
リマス、中々間違ッテ傳ハルモノデ、私モ相
當ニ迷惑致シマシタガ、サウ云フ意味デア
リマスカラ、ドウカサウ云フヤウニ御諒承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○植原委員 間違ッテ傳ハルノデアリマ
セヌ、之ヲ讀ミマスレバ私ノ言ウタ意味以
外ニハ取レマセヌ、ドンナ人ガ此文章ヲ解
釋シテモ、此記事ヲ解釋シテモ、私ガ解釋
スル以外ノ解釋ハ出來ナイノデスガ、サウ
デナイ、サウ云フ意味ダト言換ヘテ御説明
ニナレバ、ソレハ其儘聽取ッテ置キマスケレ
ドモ、ソレヲ今此處デ言葉ノ上デ私ハ議論
致シマセヌ、唯此文章ヲ見マスケレバ、サウ
云フ風ニ聽取レル、此調子デ御話ニナッタナ
ラバ、貴族院ノ憲法問題ノコトモ、或ハアッ
タノデハナカラウカト云フヤウニモ考ヘラ
レマスケレドモ、ソレモ今更此處デ咎メマ
セヌ、是デ大體ニ於テ私ノ質問ハ、陸軍大
臣ト廣田外務大臣ニ關スルノト、殘ッテ居リ
マスガ、是ハドウモ他ノ國務大臣デ御答ヲ
求メルコトハ困難ダト思ヒマスカラ、ソレ
ハ留保シテ置キマス

○小川委員長 今豫算委員會ニ陸軍大臣ト
外務大臣ト居ラレルサウデアリマス、モウ
少シ前カラアチラニ交渉シテ居リマスガ、
豫算委員長カラ議場ニ諮ッテ、コチラヘ來テ
戴クヤウニシヨウト云フ返事ガアリマシタ、
ソレデ今サウデアリマスケレバ、兩大臣ノ御
出デニナラヌ前ニ、他ノ方ニ發言ヲ許シマ
ス

○植原委員 ソレヲ留保シテ、次ニ外務大
臣ト陸軍大臣ガ御出席ニナッタ時ニ、私ノ質
問ヲ繼續スルト云フ諒解ノ下ニ、アトノ審
議ヲ御進メ下サイ

○小川委員長 小山谷藏君

○小山委員 私ハ委員長ニ先程通告致シマ
シタ通り、私ノ質問ハ主トシテ總理大臣ノ
御出席ヲ願ヒタイノデアリマス、又陸海軍
大臣等ニモ關聯ハ致シマスケレドモ、總理
大臣ガ御見エニナラヌト私ノ御尋シタイト
思ヒマスコトハ、ソダハヌト思ヒマス、デ
アリマスカラ其時ニ、順番ヲ取ッテ戴キマ
ス

○小川委員長 總理大臣モ要求致シマシタ
ガ、今貴族院ノ豫算委員會ニ居ラレルサウ
デアリマス——板野友造君

○板野委員 政府ニ御尋致シタイコトハ、
勅令事項ト命令事項トノ關係ト云フヤウナ

コトニ相成ル譯デスガ、過日來ノ政府ノ御
答辯ニ依リマス、總動員ノ實質内容ヲ勅
令ニ委シテ居ルノハイカヌ、廣範圍ノ命令
ヲ委任スル、是ハイカヌト云フヤウナ風ニ
議員ハ頻ニ言フ、政府ノ見ル所デハ命令ニ
委シテハ居ラス、即チ本案ニ依ッテ法律ヲ以
テ規定ヲスルノダカラ差支ハナイ、斯ウ言
ハレル意味デハナイカト聞エル點ガアル、
是ハ私ノ誤解カモ知レヌ、吾々ガ政府ニ向ッ
テ是非御伺シテ置カナケレバナラヌト思ヒ
マスルノハ、此案ノ立前ガ總テ總動員ノ對
象ト云フカ、目的ト云フカ、即チ此案ノ實
質内容ヲ、法律自ラデ規定スルコトヲセズ
シテ、政府ガ勝手ニヤレル勅令ニ其規定ヲ
一任シテ居ル、是ハ憲法ノ違反デハナイカ
ト云フ疑ヲ私共モ持チ、國民モ茲ニ多大ノ
疑點ヲ挿シテ居ル、此點ニ對シテ先ヅ明快
ナル御説明ヲ仰ギタイ

○鹽野國務大臣 ドウモ説明ノ仕方ガ下手
ナ爲ニ、御諒解ヲ得ニクイト見エマスルガ、
言葉ノ立テ方ガ同ジコトヲ申上グルノデ、
ドウシテモ同ジヤウニナルノデアリマス、
要スルニ臣民ノ權利、自由、財産ヲ束縛ス
ルニハ、法律ヲ以テスベシト云フコトガ憲
法ニ章ニ決マッテ居リマス、ソコデ本案ニ
於キマシテモ其臣民ノ權利、自由、財産ヲ

制限シ、剝奪スルコトヲ本法ノ各本條ニ於テ規定致シテ居ルノデアリマス、唯其程度方法等ヲ勅令ニ譲ツテ居ルノデアリマスガ、其勅令ニ書キマスル範圍ハ、各本條ニ決メテアリマスル以上ニハ、臣民ニ迷惑ヲ掛ケナイノデアリマス、此法案ハ國家總動員ト云フ大キナ問題ヲ取扱ヒマスルカラ、法ノ内容ガ非常ニ廣ク各般ニ互ツテ居ルノデアリマス、之ヲ部類ニ分ケテ見マシテモ、物資トカ、勞務、施設、事業、資金、情報宣傳其他ト云フヤウニ、此事項ハ極メテ重要ナ事項デアリマシテ、是等ヲ一括シテ此文ノ中ニ纏メテアリマス、サウシテソレニ關スル臣民ノ自由ヲ制限剝奪致シマスル事柄ヲ、各本條ニ分ケテ規定シテ居リマス、ソレガ故ニ各條何レモ「戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ」ト云フコトヲ謳ッテアル次第デアリマシテ「總動員上必要アルトキ」ト云フコトガ非常ナ制限ニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ其上ニ細カイ事柄ハ、勅令ニ譲ツテ書カセル、其勅令ガ所謂白紙委任狀ト云フコトニナリマス、其白紙委任狀ヲ極度ニ使ツテ見ル、其權限ヲ最高度ニ使ツテ見ルト致シマシテ、ドウナルカト申シマスト、ヤハリ各本條ニ書イテアル程度ニ終ルノデアリマス、ソレ以上ニ臣民ニ負擔ヲ掛ケ

ルト云フコトハナイノデアリマス、此總動員上必要アル時ハ、國民ニ斯克／＼ノ義務ヲ負ハセルト云フ風ニ書イテアル外ニ、勅令ニ定ムル所ニ依ツテスルゾト云フノハ、其臣民ニ負ハセル義務ヲ、成ベク必要ノ程度ヲ最小限度ニ止メルト云フ制限ヲ加ヘル積リノ趣意デ、勅令ニ譲ツテ居ルノデアリマス、ソレデ制限スル意味デナクシテ、唯漫然ト勅令ニ譲ル——勅令ハ何デモ書ケル、斯ウ見マシタナラバ、不要ノ文字デアリマス、勅令ノ内容ヲ極度ニ擴張致シマシタナラバ、唯本文ニ書イテアル義務ニ止マルノデアリマス、然ラバ勅令ニ依リト云フコトハ、書ク必要ハナイノデアリマス、ソレヲ勅令ニ依リト書キマスルノハ、本文ニ書イテアル義務ニ付テ成ベク最小限度ニ臣民ニ負ハセル、斯ウ云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ、其事柄ハ固ヨリ臣民ニ對スル義務ニ關聯セル事柄デアルカラ、立法事項ノ一部デハナイカ、法律ニ書クノガ正シクハナイカト云フ議論モ出ルノデアリマシテ、ソレハ議論トシテ御尤デアリマス、併ナガラソレハ義務ニ關聯スル態樣デアリマシテ、臣民ニ負ハセル義務其モノデハナイノデアリマス、態樣モ成ベク法文ノ上ニ現ハスコトガ適當デハア

リマスルガ、其現ハスベキ態樣ニ付テハ、種々ナル場合ガ想像セラレ、色々ノ方面カラ其事項ガ多岐ニ互リマス、幾ラ多岐デモ法文ニ書ケバ宜イデハナイカト云フ議論モ起リマスルガ、其多岐ニ互ル事項ハ、戰時ニ於キマシテハ變轉極リナキ事情ニ對應シテ決メテ行クコトヲ必要トスル事項ガ、想像サレルノデアリマスルカラ、法律ニキチント書イテシマツテ、固定サセテ置クコトハ、臨機ノ處置ヲ執ル上ニ於テ適當デハナイト考ヘラレル、又一面ニハ度々申上ゲルヤウニ、餘リ早クカラ公表シテ置クコトハ、對外的ニ我國ノ爲ニ利益ニアラズト考ヘラレル事項モアルノデアリマス、隨テ義務ニ關聯スル諸種ノ事項、其事項ハ義務ヲ殖ヤスモノニアラズシテ、寧ロ義務ヲ輕減サセル、適當ニ義務付ケル、不必要ニハ其義務ヲ要求シナイト云フ意味合ニ於テ、立デマスル勅令ノ内容デアリマスカラ、之ヲ法律ノ成文ニ書カナイ方が寧ロ適當デアル、甚ダ言葉ガ長クナリマシタガ、勅令ニ書クベキ事項ニハ種々アル、今ヨリ豫想シテ書キ得ルモノモアルガ、又事態ノ變遷ニ應ジテ、今カラ豫想ノ出來ナイ部分モアルノデアルカラ、勅令ニ譲ツテ書クノデアツテ、其勅令ハ白紙委任狀ノヤウナモノデアリマ

スガ、ソレハ義務ノ本質ニハ觸レナイ、寧ロ義務ヲ適度ニ輕減スルモノデアアル、斯ウ云フ風ナ解釋ヲ下シテ居ルノデアリマス

○板野委員 私共敢テ此處デ質問ト言ツテ、ソレデ色々喋ッテ見ヨウトモ何トモ思ッテ居ヤシナイノデスガ、甚ダドウモ諒解ニ苦シム點ガ多イコトヲ衷心遺憾トスル、私ハ實ハ昨日モ申シタヤウニ、丁度鹽野司法大臣モ居ラシヤッタト思ヒマスガ、國家總動員ノ必要ガアルコトハ、是ハ洵ニ已ムヲ得ナイ、勿論必要デアアル、ソレダカラ準備ノ必要ナルコトハ政府ト同感デアアル、ソレダカラ先ヅ準備ニ關スルコトハ十分ニヤル、本案デ言フナラニ一條以下ノ如ク準備ニ關スルコトハ、早ク之ヲ規定スル、規定ダケデハイケハ、事實ニ於テドシ／＼準備ヲ進メナケレバイケナイ、露骨ニ言ヘバ準備ハ今デハ不十分デアアルカモ知レナイ、ダカラ準備ヲ早く立テヨウ、準備ノ實行ハ最モ急ヲ要スル、併ナガラ司法大臣モ今仰シヤッタヤウニ、此變轉極リナキ千萬變化ノ事態ヲ將來生ズルノデアアル、時々刻々ニ變ルノデアアルカラ、總動員其モノハ寧ロ茲デ法律ヲ作ラナイデ以テ、憲法第三十一條ノ大權ノ發動ニ俟ツ、斯ウシタ方が宜クハナイカト云フ意見ヲ持ッテ居ルノデ、此コトハ昨日申シタ、ケレド

モ政府ノ方デハサウデハナイ、今カラ決メテ置ク方ガ宜イノダ、斯ウ仰シヤルカラ、ソレナラ決メルトスレバ斯ウ云フ點ニ於テ吾々ハ甚ダ解スベカラザルモノガアリトシテ、此處デ御尋ヲ致シテ居ルノデアル、ソコデ政府ノ方ノ仰シヤル意味モ成程分ッテ居ル、斯ウ云フ御考ダナト云フコトヲ少シ私ガ氣付イタノハ、何モ茲デキツチリ是レト具體的ニ書カナイデモ、戰時ニ於テ總動員ノ必要ト云フ一ツノ制限、必要以上ノモノハ決シテ動員シナイガ、是ダケハ必要デアルト云フコトノ制限、ソレカラ戰時ト云フノデアルツラ、戰時以外ニハイケナイト云フ茲ニ一ツノ制限ガアル、ソレカラ例ヘバ物資ナラ物資、勞務ナラ勞務、資金ナラ資金、是ダケ書イテ置クト、ソレデハ餘リ茲ニ漠タルモノガアリ、且ツ餘リ廣範圍カモ知レナイ、併ナガラサウデナクシテ是ニハチャント勅令ヲ以テ自カラ制限ヲ加ヘルト云フノデアルカラ、是以上ノモノヲ徵發ストカ、動員スルコトハナイカラ、意ヲ安ンジテ可ナリト言ツタヤウナ意味ラシイ、ドウモサウラシイノデス、ダカラ此法案自體ニ於テ時ハ即チ戰時デアルト云フ一ツノ制限、ソレカラ必要ト云フコトデ制限シ、又自カラ勅令デ定メルカラ是等デ制限シテアルト、斯

ウ仰シヤルノラシイ、マアサウデアルトシテ御尋ヲ致シタイノハ、戰時以外ノ平時ハ入ラスト云フコトハ、ハッキリシテ居ル、又必要トアルカラ不必要ノモノハ入レヌカラ、ソコハ自カラ制限スル、是モ成程理窟デア、ソコドウゾ動員ヲ受ケル方ノ國民ノ側ニナツテ御考ヲ願ヒタイ、法ヲ立案スル人ハ、サウ云フコトヲ考ヘタカモ知レナイ、必要ト必要ハ一體誰ガ分ケル、直接利害關係ヲ持ッテ居ル所ノ國民ガ決メルノデハナイ、必要ガアル時ニハ直チニ勅令ガ出セル、必要不必要ハ是ハ行政府ガ勝手ニ決メル、制限ガアルト云ツタ所デ、其運用ヲヤル行政府ガ勝手ニ必要アリト見ルノデアルカラ、此總動員ヲ受ケル國民ニハ、ドウモ餘リ有難イ制限デモナイ、行政府ガ勝手ニ必要ダト言ハレ、バ如何トモ仕方ガナイ、制限ガ何ニナル、金ヲ貸シテ呉レ、バ借リタ金ダカラ拂フ、併シソレハ拙者ガ都合ノ好イ時ニ拂フト云フ證文ヲ貰ツタ所ガ、餘リ有難クナイ、拂ヒタイ時ニ拂フト云フノデアルカラ、自カラ決メハアルガ、何ニモナラナイ、拂フ時ニハ拂フ、錢ガ出來タ時ニ拂ハ、金ヲ拂フ義務ヲ持ッテ居ル者ガ、錢ガ出來タカラ拂ハウト云フノト、此總動員ヲ行フ行政府ガ、必要ト思フ時ハ取ルゾト云フ

ノト何處ガ違ヒマスカ、サウ云フコトヲ勝手ニ書イタ所ガ、餘リ有難クナイ、ダカラ是以上ノ負擔ハサセヤセスト仰シヤツタ所ガ、必要ダト思フト言ツテモ、實ハ誰ガ見テモ不必要ダト思フモノガ、必要ト誤認サレタツテ仕方ナイヤウナ立前デアコトハ甚ダイケナイ、ソレカラ私共ガドウシテモ諒解ノ出來ヌノハ、昨日モ政府委員カラ何ヲオ前等ハ文句ヲ言フカ、實ハ斯ウ云フヤウナ先例ハアルノデアツテ、何モ今度ガ初メデハナイト言ツテ、軍需工業動員法ヲ引例サレタ、ソレカラ昨十二年ノ工場事業場管理令、アレモ出シタ、併シ是ハ本案ト違ッテ、チヤント動員スベキモノヲ一々掲ゲテ居ル、單ニ軍需工業動員法ダケヲ見マシテモ、ズット本案ノ如ク必要ノアルモノハ勝手ニ勅令デ決メテ、サウシテ之ヲ動員スルト云フノデナクシテ、動員ノ目的物、動員ノ客體ト云フモノヲ、チヤント法律自身ガ限定シテ居ル、限定ラシテ、チヤント法律ガ決メル以上ハ、是ハ文句ハ起リマセヌ、何モ委任命令ノ議論、違憲論モ起ル筈ハナイ、法律自身ガ斯クノ場合ニ於テハ、即チ戰時ニ於テ斯ウ云フヤウナモノヲ徵發スル、動員シ得ル、斯ウ規定シテアルノダカラ、是ハ議論ハナイ、

需工業動員法ト異ッテ、動員スベキモノヲ法律自體ガ規定セズシテ、之ヲ行政部ガ勝手ニ規定シ得ル、勅令ニ讓ッテ居ルカラ、行政部ハ勝手ナ勅令ガ出セルカラ、茲ニ危險ガアル、單ニ此動員ヲ受ケル臣民ガ、危險ヲ感ズルト云フダケデナク、法律ヲ以テデナケレバ之ヲ動カスコトノ出來ナイ權利ヲ、即チ司法大臣ノ仰シヤル物資デアルトカ、勞務デアルトカ、業務デアルトカ、資金デアルトカ、色々ナモノガ規定通リアル、是等憲法ノ二章ニ依ッテ、法律デ以テデナケレバ動カスコトノ出來ナイモノヲ、之ヲ政府ガ勝手ニ勅令ヲ以テ決メル、何處マデ勅令デ決メルカソレハ分ラナイガ、法律ニ依ラズシテ勅令ヲ以テ左様ナコトノ權利ヲ動カスト云フコトヲスルノガイケナイ、憲法二章ノ規定ノ精神ニ反スルト云フノハ此處カラ出ル、今迄ノハ、チヤント限界ガ定マッテ居ル、斯ウ云フモノガ一朝有事ノ際、即チ戰時ノ際ニハ、之ヲ徵發スルゾ、之ヲ動員スルゾトアル、今度ハ動員セラルベキモノ、將來必要ガアレバ動員スベキモノヲ限定セズシテ、其規定ヲ勅令ニ一任スルト云フコトガ宜シクナイ、廣範圍ダ狹範圍ダト云フコトヲ彼此レ言フノデヤナイ、其性質、立前ガ悪い、廣イ狭イデハナイ、動員スベキ

モノヲ法律ガ決メナイ、動員スベキモノヲ總テ勅令ニ讓ル、其目的物ヲ決メルコトヲ勅令ニ讓ル、即チ政府ノ專權ニ委スル、此立前ガイケンイト云フノデアル、無論範圍ハ廣ウゴザイマス、廣イガ故ニ宜クナイト云フノデハナイ、法律デナケレバ決メラレナイコトヲ、法律デ決メナイデ、法律ヲ以テ自分ノスベキコトヲ政府ニ一任スルコトガ宜シクナイゾ、此點デアル、此總テヲ舉ゲテ勅令ニ委任スルコトガ、少クモ憲法ノ精神ニ反スルト云フ、實ニ結ンデ解ケザルモノガ玆ニアル、重ネテ申上ゲマスガ、法律ヲ以テ決メナケレバナラスモノヲ、自分で決メルコトヲシナイデ、之ヲ政府ニ一任シテ以テ勅令ノ規定ニ委スル、是ガ違憲デヤナイカト斯ウナンデアル、重ネテ御懇切ナ御説明ヲ願ヒタイ

○鹽野國務大臣 憲法論ノ基本ニ付テハ、

別ニ議論ノ相違ハナイコトト考ヘマス、要スルニ憲法第二章ニ書イテアル臣民ノ權利義務ニ付テハ、法律ニ依ッテ明ニ出シテアル、ソコデ本法モ亦法律ニ依ッテ之ヲ規定致スノデアリマシテ、ソコデ前例トナリマシタ軍需工業動員法ニ於テハ、品物が餘程局限サレテ居ルデハナイカ、動員法ノ方デハ品物が甚ダ漠トシテ居ル、斯ウ云フ風ナコ

トカラ餘リ漠然トシテ居ルモノヲ規定シテ置クノハ、立法事項トシテ保障サレテ居ル憲法ノ精神ニ背クモノデハナイカ、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、其軍需工業動員法第一條ヲ見マシテモ、軍用ニ供シ得ベキモノトシテアリマシテ、ヤハリ可ナリ漠然タルモノガ竝ンデ居ルノデアリマス、其最後ニハ「前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル、軍用ニ供シ得ヘキ物件」何デモ戰ノ役ニ立ツ物件ハ、勅令デ決メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、總動員ノ方デハ軍用ト云フ言葉ノ代リニ「總動員上必要ナル」ト云フコトガ書イテアルノデアリマス、軍需工業動員法モ、勿論戰時ヲ目標トシテ立法セラレタモノデアリマスルガ、本案ノ總動員法ハ、其戰時ニ對スル身拵ヘヲ、工業動員法ヨリ一層大キクシタモノデアリマス、度々申上ゲテ居ルヤウニ、近代戰ニ於テハ唯軍用品ノ充實バカリデハ、勝利ハ得ラレナイ、ドウシテモ國民ノ全能力、又國ノ有スル全物資ヲ擧ゲテ之ヲ戰爭ノ力トスルト云フノデ、其間ニハ國民ノ生活モ、相當確保セラレナケレバナリマセスカラ、軍需品ノ充實ト云フ方面モ考ヘテ用意ヲシナケレバナラナイト云フノデ、單ニ軍需工業動員ト云フ軍需品ニ限ル法律ヲ本法ニ吸

收シマシテ、其以外ニ大キク國家ノ總動員ト云フコトニ、立前ヲ取ツクノデアリマスガ、此近代戰ニ於ケル國家ノ總力ヲ擧ゲルト云フ立前カラハ、ドウシテモ國家總動員ノ體制ヲ取ラナケレバ相成ラスト思フノデアリマス、事ハ戰時デアリマス、國ヲ擧ゲテ勝敗ヲ爭フ場合デアリマスカラ、國民ハ全部ノ力、全部ノ品物ヲ提供スルノデアリマス、平時ノ考ヲ以テマシテ之ヲ論ジマスルト、或種ノ品物ニ付テハドウスルトカ、或ル業務ハドウスルトカ云フ限定シタルコトガ出來マスルガ、國家ノ總力ヲ擧ゲテ戰フト云フ時ニハ、國家ノ總テノ物資、總テノ力ヲソレニ注グ必要ガアルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ此規定ノ書キ方モ、鉛ハドウカ、金ハドウカトハ書ケナイ、何デモ宜イカラ在ル物ハ皆出ス、是デ戰ヲシロ、勿論國民ハ戰ノ爲ニハ身命ハ勿論、全財産ヲ投ゲルト言ヒマセウ、ケレドモソレハ先程申上ゲタヤウニ、其方向ヲチヤント決メテ、前カラ覺悟ヲサシテ置クト云フコト、非常ノ場合ニ於ケル統一アル且ツ統制アル立前ヲ示シテ、心得サシテ置ク、サウシテソレニ對スル準備ヲサシテ置クト云フコトガ必要ナノデアリマシテ、單純ニ二十一條以下ノ平時ニ於ケル具體的ノ準備ノ外ニ、戰時ヲ目

指ス四條乃至二十條ノ規定ト云フモノガ決シテ無駄——無駄ト言ッテハナンデスガ、之ヲ戰時ニナッテカラ規定シタラ宜カラウ、若クハ非常大權ニ御任セシタラ宜カラウト云フモノデハナイノデアリマシテ、之ヲ平時カラ規定シテ置イテ、サウシテ此規定ハ甚ダ漠トシタヤウデアリマスガ、ソレハ品物ヲ全部出セト云フノガ根本ノ精神デアリマス、全能力ヲ使フ、ソコガ平時ノ考ト違ッテ來ルノデス、全部ヲ目標トシテ居ル、デアラカラ本文ニハ全部出セト書イテアル、全部ノ力ヲ出セ、ダガソレハ順序ヲ付ケ、制限ヲ致シ、最小限度ニ且ツ有效ニ使フ爲ニ、其使ヒ方ノ方法ヲ勅令ニ讓ルノデアリマス、勅令ニ依ッテ決シテ人民ニ新ナル束縛ヲスルモノデハナイノデアリマス、本文自體ガ非常ナ束縛ヲシテ居ルノデアリマス、其束縛ヲ寧ロ緩メル方ノ規定ガ、勅令ニ現ハレテ來ルノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、根本的ノ御考ニ——私ノ説明ガ足りナイ爲ニ、御諒解シニクカッタノデハナイカト存ズルノデアリマス

○板野委員

政府ノ仰シヤルコトハ能ク分リマスガ、私モ是デ近代戰ニ對シテ、國家ノ總テノ力ヲ擧ゲテ之ニ掛ラナケレバナラナイ、サウシテ國力ノ總テヲ擧ゲテモ國家

ト國家トノ戰デアルカラ、極メテ大規模ノモノデアッテ、大正七年頃ニ出來タ軍需工業動員法ナドデ以テハ、不足デアルコトハ能ク承知致シテ居ル、ダカラ軍ノ必要ナルモノ、軍ヲシテ遺憾ナカラシムルダケノ計畫ヲ立デナケレバナラヌコトニ付テハ、洵ニ之ヲ痛感致シテ居ル、此點ニ付テハ諸公ニ一步ヲ讓ルモノデハナイデス、併シソレナラ今政府ガ仰シヤルヤウナ意味デハ、今カラ其必要ノアルコトヲ國民ニ覺悟ヲサスコト、極メテ廣範圍ナ最大限度ノ動員ヲヤラナケレバナラヌコト、是等ハ總テ同感デアール、ソレナラバ私ハ繰返スヤウデスガ、其點ハ同感ダガ、同感ダトスレバ準備計畫ニ關スルコトハ、スツカリ茲デ完備シナケレバナラヌガ、唯總動員ノ實施其モノハ、ヤハリ三十一條ニ一任シテ、愈、其場ニ臨ンデ、其代リ本當ニ必要ナ、是ハ政府モ仰シヤルヤウニ時々刻々ニ情勢ハ變ル、千變萬化、デアールカラ今決メテ置イデモ、今ハ凡ソ如何ナル戰爭ヲヤツテモ、是ダケノ物ノ動員ハ蓋シ出來ルダラウト云フ大體ノ見透ヲ付ケテノ規定デアールカラ、是ダケデハ必要ノ全部ハ充サレナイデアラウ、必要ノ全部ガ充サレナイト同時ニ、或ハ不要ノモノガ出來テ來ルカモ知レナイ、情勢ハ變ル、サウ云フ

ヤウニ後ニ至ッテ愈、此法律ガ活動シナケレバナラヌ即チ戰時狀態ニ入レバ、斯ウ云フ法律ヲ作ッテ置イデモ一部ハ不要ニナル、或ハ一面ニハ不足スルモノガ出來テ來ル、ソレナラバ眞ニ必要缺クベカラザルモノヲ動員スルコトヲ、三十一條ノ大權ノ發動ニ俟ツ、サウシテ今カラ決メテ置クコトヲ廢メルト云フコトニシナケレバナラヌ筈デアール、ソレヲ今カラ決メテ置クコト云フノハ何故デアールカ、全體事情ハ變ルノデアリマス、事情ガ變ルノダカラ、變ッテ愈、此法律ノ要ル時ニ、今カラ法律ヲ作ッテ置イタ所ガ、準備計畫ニ關スルコトハ今カラ發動スルデセウ、又サセナケレバिकासデセウ、ケレドモ此總動員ノ活動ト云フモノハ、戰時デナケレバ出來ナイノデス、計畫準備ハ今カラ出來ル、又其點ハ異論ハナイ、ダカラ其點ハ早く規定シナサイ、唯動員其モノ、總動員ハ實施ハ決メテ置イデモ、今ハ要ラヌ、戰時ニ始メテ要ル、併シ戰時ニ入ル時ニ今ノ豫想トハ違ッテ、事情ハ千變萬化、事情ガ變ル、事情ガ變レバ今日豫想シタル一部分ハ裏切ラレ、一部分ハ的外レルト思フ、ソレダカラ一部ハ不要ニナリ、又半面ニ於テハ此規則ヲ折角作ッテ置イデモ、此規則ノ活動ヲ求メル時ニハ不足ノモノガ生ズ

ルノハ、是ハ論理上已ムヲ得ヌ、政府ダッテ其通りダト言ハザルヲ得ヌ、デスカラ今カラ總動員ノ實施ヲスルノデハナイ、總動員ヲ實施スル時ハ將來ニ屬スル、如何ナル變化ガアルカモ知レナイ、ヤッテ置イテモドウナルカ分ラヌ、例ヘバ旅行ヲスルノダカラ雨ノ準備ヲシナケレバナラヌ、併シ雪ノ準備モ要ル、又夏ノ準備モシナケレバナラヌ、イツ旅行ヲスルカ知ラヌカラ全部ノ準備ヲスルノデアール、時期ガイツト決ッテ居ナイカラ雪ノ時、雨ノ時、晴天ノ時、サウシテ不要ノモノヲ含メズ不足ノ物ノナイヤウニ、ヤハリソレガ戰時ガ來テ其時ニ缺クベカラザルモノ、必要ノ全部ヲ網羅シテ、同時ニ不必要ヲ省イテ適切有效ナ勅令、即チ大權命令、之ニ俟ツト云フ立前ニシナケレバナラヌデハナイカ、此拙者ノ議論ノ何處ガ違フ、何處ニ間違ガアル、今カラ此總動員ヲヤラナケレバナラヌノデアールナラ、ソレハ今決メナケレバナラヌケレドモ、政府自ラ言フガ如ク、總動員其モノハ戰時ニナツテ初メテヤルノデス、戰時ニナツテ初メテ要ル法律ヲ、今カラ作ッテ置ク、サウシテ政府自ラ言ヘルガ如ク、ソレハ事情ガ變ルカラ、此法律ノ一部分ガ變更サレルカモ知レヌ、全部ガ大權ノ發動デ排除サレルカモ知レ

ヌ、是ハ鹽野司法大臣ガ言ッテ居ル、一部又ハ全部理論上カラ言ヘバ變更ヲ受ケル、不要ナルモノモアラウ、不足ヲ感ズルモノモアラウ、ソレナモノヲ今カラ立テ、置カナケレバナラヌト云フノハ何デアールカ、私ニハ分ラヌ、チャント其途ガ開ケテアル、重ネテ此點ノ政府ノ御答辯ヲ促ス

○鹽野國務大臣 戰時ノ爲ニ準備ヲ致スコトノ必要デアールコトハ、能ク御諒解ヲ願ヘタヤウデアリマス、然ラバ總動員法ノ全般ハ、戰時ニナツテ發動スルノデアールカラ、戰時ニハ戰時ニ對スル應急ノ御處置ハ大權ニ依ッテ出來ルカラ、寧ロ大權ニ御委セスル方ガ宜イノデハナイカト云フ御議論ノヤウニ拜聽致シマシタガ、是ハ國力戰ハ大體ニ於テ人ノ力ト物資トヲ統制シ、全力ヲ盡サセラルノデアリマスルカラ、戰時ニ於ケル總動員ノ大綱ト云フモノハ、現在カラ規定スルコトガ出來ルノデアリマス、偕テ想定スルコトガ出來ルノデアリマス、其想定ヲ具體化シ、一般國民ニモ知ラシメ置クコト云フコトガ宜シイノデハナイカ、戰時ニナリマシテ突然ニ國民ニ知ラシムルヨリモ、平時カラ其心構ヘト、其研究トヲサシテ置クノガ、ヨリ良キ方策ト考ヘマスルカラ、ソレガ爲ニ政府トシテハ早く之ヲ用意致シテ置クコ

トガ、政府ノ義務デアルト考ヘルノデアリマシテ、戦争ガ起ツテ其時ニナツテ處置ヲ致スト云フコトハ、如何ニモ政府トシテハ怠慢ニ感ズルヤウナ次第デアリマス

○青木政府委員 一寸補足シテ置キタイト

思ヒマスガ、板野サンノ御話ノ中デ、此法律ヲ折角作ッテ置イテモ、愈、戦時トナレバ千變萬化ノ情勢ニナルカラ間ニ合ハナイ、或ハ無駄ニナル、或ハ不足ヲシテ、折角作ッテモ間ニ合ハナイカラ、作ッテモ意味ヲ爲サナイノデハナイカト云フ御趣意ノ御尋ガアツタノデアリマス、ソレハ戦争ニ際シマシテ情勢ガ變ルコトハ、先日來御話致シタ通りデアリマス、隨テ實情ニ合フヤウニ勅令デ内容ヲ制定シテ行キタイト云フ趣旨モソコニアルノデアリマスガ、法律自身ノ内容カラ申シマス、今日豫測シ得ル程度ノ戦争デアリマスレバ、先ヅ法律ノ基礎トシテハ是ダケノモノガアレバ大體間ニ合フ、是ハ一ツノ例デアリマスガ、將來百ノ必要ガアレバ、人間ノ知識デアリマスカラ完全トハ申セマセヌガ、先ヅ九十八、九十七マデハ此法律ノ基礎デ以テヤツテ行ケルノデハナイカ、唯其發現ノ態様ハ勅令デ統制シテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマスノデ、變ルト云フコトハ此法律ノ基礎ガ付付ク、

此法律デハ間ニ合ハナクナル、或ハ不要ニナルト云フ、サウ云フ意味デ申上ゲテ居ルノデハナイコトダケヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス

○板野委員 本案ガ何故提案サレルニ至ッ

タカ、總動員ノ必要ナドハ國民ガ皆知ッテ居リマス、國民ノ中ニモ色々ナ考ヲ持ッタ人ガアリマス、ドウシテ是ガ出タノダラウト色々ナコトヲ考ヘル人ガアルノデアリマス、私共ドウモ政府ノ仰シヤルコトハ徹底セヌト思フ、政府ハ國民ニ其覺悟ヲサスナドト頻リニ仰シヤル、總動員ト云フコトヲ知ラセテ置クコトハ洵ニ結構デ、其點ハ同感デスガ、自分ノ出シタ案ヲ能ク見テカラ仰シヤツテ下サイ、是デ國民ニ何ノ覺悟ガ出來マスカ、戦時ニハ總動員ガアルカモ知レヌト云フコトハ、戦時ニ於テト書イテアリマスカラ、ソレハ分リマス、併シ如何ナルモノガ動員サレルノデアルカ、本法ガ議會ノ協賛ヲ經テ成立スルニ至ッテモ分ラヌデヤアリマセヌカ、書イテナイノダ、將來規定サル、勅令ニ依ッテ、大動員ヲ受ケルゾト云フコトダケハ分リマス、併シ何デソレノ覺悟ノ決メ様ガアルカ、譬ヘテ言ハバ斯ウ云フ風ナンデス、多年ノ政治運動デスッカリ無財産ニナル、モウドウニモ斯ウニモナラ

ヌ(笑聲)ダカラ此年末ハ一ツ郷里ニ歸ッテ一切ノ財産整理ヲヤル、左様心得ヨト——拙者ハ郷里ハ岡山縣デスガ、(笑聲)家ニ言ウテヤル、私ハ戸主デスカラ……、實際ヤルカモ知レヌ、其時ニ私共ノ家族ハ何ノ覺悟ヲ致シマスカ、多年ノ政治運動デ財政困難、所デ此年末ニハ大整理ヲヤラウト思フ、先ヅ私共ノ家族ニ大決心、大覺悟ヲサスニハ、先祖傳來ノ畑モ田モ賣ッテシマフゾト云フ其内容ヲ今カラ知ラセナケレバ覺悟ハ出來ナイ、板野友造ガ歸ッテ來テ、一切ノ家屋敷モ、畑モ賣ッテシマフノデアルト言ヘバ、家族ハ是カラ一ツ滿洲ニデモ出掛ケヨウカ、支那ニデモ行カウカト云フ覺悟ヲスルカモ知レヌ、併シ急ニ歸ッテ、俺ハ苦シクナツタカラ、此年末ニハ整理ヲスル、如何ナル整理ヲスルカラト言ッテモ、何ノ覺悟ガ出來マスカ、本案ハソレト同様デハナイカ、戦時ニハ總動員ガアルカモ知レナイ、總動員ガアルゾ、其如何ナルモノデアルカト云フコトハ法律ニハナイノダ、此法律ニ制定シテナイノニ何ニ依ッテ知り得ルカ、ソレヲ輪廓ヲ知ラストカ、覺悟ヲサストカ云フコトハ、是ハ一場ノ詭辯デス、内容ノ分ラナイノニ何ノ覺悟ガ出來ルカ、ドウモ苦シクテ仕様ガナイカラ借金政策ヲヤル、ド

ノ位借リルカ、具體的ノコトヲ言ハナイデ何ノ覺悟ガ出來マスカ、ソレカラ覺悟々々ト仰シヤルカラ昨日モ一言シマシタガ、憲法第二章ニハ戦時ニ於テ大動員ガ行ハレル、如何ナル動員、如何ナルモノガアルカモ知レナイコトハ、憲法ノ規定ハ今カラ五十年前ニ發布サレテ居ルノデアルカラ、國民ハ皆知ッテ居リマス、此法律ヲ拵ヘテ國民ニ總動員ノ覺悟、國民ノ認識、諒解ヲ得ルト仰シヤル、ソレナラバ戦時若クハ國家事變ノ際ニ於テ、大權ノ發動ノアル場合ニ於テハ、憲法第二章ニ規定サレタル臣民ノ權利義務ト云フモノハ、根柢カラ動搖スルコトノアルベキコトハ、國民ハ憲法ニ據ッテ五十年前カラ認識、諒解致シテ居ラナケレバナラス、憲法若クハ法律ガ出來テモ、ソレヲ讀マナイデ知ラス者ハ、今度ノ總動員法ガ出來タ所デ知リマセヌ、ソナ連中ハ日出デテ耕シ、日入ッテ憩フ、法律モ憲法モ知リハセス、法律ガアツテモ知ルモノナラバ、戦時ノ際ニ大動員ガアリ、生命、財産、權利、自由舉ゲテ大權ノ發動ニ依ッテ、如何ナル變化若クハ如何ナル犠牲モ拂ハナケレバナラスト云フコトハ、憲法ニ據ッテ分ッテ居ル筈デアリマス、憲法ヲ讀マナイデ五十年前カラノ此規定ニ對シテ氣ガ付カヌ、今度ノ

總動員ヲ出セバ國民ガ諒承スルダラウナドト、左様ナコトヲ言ッテソレハ詭辯ト言フ外、何ノ價值ガアル、眞面目デ仰シヤイ、此法律ヲ出セバ國民ガ初メテ總動員ナルモノヲ認識、諒解スルダラウ、覺悟スルダラウト云フコトダガ、初カラ中味ノナイモノヲ何ヲ諒解サセルノカ、諒解ノ仕様ガアルカト言ヒ得ルノミナラズ、憲法ガアルカラソナコトノ認識諒解ハ五十年前カラナケレバナラス、私共ハドウモ眞面目ナ答辯デアアルカト疑フ、國民ニ覺悟ヲサスノナラバ憲法デアレバ宜イ、重ネテ言ヒマスガ、憲法ニ規定ガアツテモ國民ガ讀マヌナラ仕様ガナイガ、今度ノ法律ハドシ、讀ムダラウナドト、ソナコトハ言ヘマセヌ、若シ憲法ヲ讀マナケレバアナタ方ノ御好キナアノ役人ヲ使ッテ、國民精神總動員ヲヤラス時ニ、憲法ヲ讀ムヤウニ仰シヤイマセ、蓋シ政府ノ政策ヲ國民ニ知ラシメ、政府ノ目的ヲ達成スルニハ是ガ一大捷徑デス、國民ノ覺悟トカ、國民ノ了解ナント云フコトハ私ニハドウシテモ分ラナイ、本當ニ政府ハソナコトヲ思ッテ居リマスガ、憲法第三十一條ニドンナ風ノ變化ヲ來スカ分ラヌカラ、戦時ニハ國家存立ノ必要上國民ノ權利、自由ヲ犧牲ニシナケレバナラスカモ知ラヌゾト云

フ規定ガアル、今更此法律ヲ以テ覺悟ヲ促シテ、初メテ國民ノ了解ヲ得ントスルカ、何ゾ其言フコトノ徹底セザルノ甚シキヤ、之ヲ本氣デ仰シヤッテ居ルナラバ、私共ハ失禮ナガラ沒分曉漢ダト言ヒタイ、サウデセウ、之ハ五十年前ニ發布サレタ憲法ニ書イテアル、今度ノ此法律ニ依ッテ初メテ國民ニソレヲ知ラセルナドト云フノハ、人ヲ馬鹿ニシテ居ルデハナイカ、國民ヲ馬鹿ニスルモノダ、眞面目ニ私ハサウ痛感スルノダ、議會ニ於テ政府ノ言フ言、一々是レ數時間ノ後ニ國民ノ耳朶ニ達シ、國民ノ頭ニ聳動ヲ與ヘ、馬鹿ニスルナヨト思ヒマス、實ニ國家存立ノ爲ノ戰爭デアアルカラ、義勇奉公ト云フコトハ決シテ或ル一部ノ人、國民ノ一部ノ人ダケノ專賣物デハアリマセヌ、國民ノ一部ノ中ニハ、國家ニ對シテ特別ノ忠義ト云フコトヲ、或ル一部ノ人ノ專賣ノヤウニ思ッテ居ル人ガアルカモ知レマセヌガ、斷ジテ然ラズ、一億ノ國民 陛下ノ赤子一人ト雖モ、我起ッテ國ヲ護ラント云フ、此義勇奉公、忠烈無比ノ念ニ於テハ、決シテ軍人ニモ劣ラナケレバ、官吏ニモ劣リマセヌ、此法律ヲ立テテ初メテ國民ガ戦時ノ覺悟ヲスルダラウナドト云フコトハ、國民ヲ侮辱スルノ甚シキモノデアアル、御考下サイ、不埒

ナ言葉デアアル、國民ハ貴公等ニ劣ッテハ居マセヌ、身ヲ國家ニ捧ゲ、國家ノ犧牲トナルト云フ精神ニ至ッテハ、斷ジテ軍人ニモ劣ラナケレバ、内閣諸公、官吏諸公ニ劣ルモノデハアリマセヌ、然ルニ俺ハ知ッテ居ルケレドモ、國民ハ知ラヌダラウト云フコトハ、人ヲ侮辱スルモ甚シキモノデアアル、不敏ナリト雖モ國民ヲ代表スル一人トシテ私ハ憤慨ニ堪ヘヌ、ソレヲ此法律ニ依ッテ、初メテ犧牲ヲ拂フコトガアルゾト云フヤウナ覺悟ヲ國民ニサセルナント云フコトハ徹底シマセヌ、又法律ヲ規則デ初メテ知ルノナラバ、コンナ法律ヨリ先ニ憲法自身デ知ル、政府ノ言フ所ハ分ル、併シソレハ理窟ハ通りマセヌ、徹底ハ致シマセヌ、即チ政府ノ言フ所ハ豫メ知ラシテ國民ノ覺悟ヲ促スノダト、覺悟ヲ促スナント云フコトハ全然無意義デアアル、サウシテ近代戦ハ大仕掛デアアル、總テノモノヲ動員シナケレバナラス、是モ同感デアアル、國民モ皆知ッテ居ル、宜シウゴザイマスガ、併シソレナラバ愈、之ヲ使フ時ハ、雨ガ降ルカ天氣ニナルカ分ラスト云フ時ニ、旅行ノ用意ヲスルト同ジ意味デアアル、時々刻々ニ變ル戦時ニ、今此處デ此法律ヲ拵ヘテ見タ所ガ、愈、此法律ノ活動ヲ見ル時ハ、此法律デハ不足ノモノモアルダラウ、不要ノモノ

モアルダラウ、既ニ五十年前ニ其用意ガシテアツテ、憲法第三十一條ガ出來テ居ルノニ何ヲ苦シンデ、此法律ヲ立テルカ、ソレモ今カラ動員ナルモノヲ行フノナラ、ソレハ立テナケレバナラス、動員其モノハ戦時ニ出ス、戦時ハ何時來ルカ分ラナイ、戦時ニ於テ初メテ其活動ヲ見ヨウト云フナラバ、何モ此法律ヲ立テナクテモ、第三十一條ノ非常大權ニ依ッテ十分デハナイカト、私ハ固ク信ジマス、私ハ政府ノ考ハ分ツタ、併ナガラ政府ノ考ヘテ居ル所ハ、國民ニハ通用セザル理窟デアアルト云フコトヲ、私ハ言フノデアリマス、ソコデ私共ハドウモ理論ノ上デハ、今カラ此總動員法ヲ規定シテ置く必要ハ、政府ノ御説明ニ依ッテハ納得スルコトガ出來ナイ、政府ノ言ハザル所ニ本案制定ノ必要ガアルノデハナイカ、表面ノ政府ノ言フ所ハ筋ガ立タヌ、此理窟ヲ知ラヌ政府デハナカラウ、併シ政府ノ言フ所デハ、本案制定ノ理由トハナラス、ナラヌトスレバは何カ言外ニ意味ガアルノデハナイカ、政府ハ何モノカニ引摺ラレ、政府ハ其立場上已ムヲ得ズ不意ナガラ本案ヲ提出スルト云フヤウナ事情デモアルノデハナイカト云フ風ナ疑ヲ招クコトニナリマス、私ガ故ラニ疑フト云フノデハナイ、政府ノ仰シヤル所

デハ理由ニナラス、政府が表面ニ言フ理由ガ理由ニナラストスレバ、言ヘナイ理由ガアルノデハナイカ、斯ウナルノデス、我國ニ於テ數年前カラ一層色メキ立ッテ來タ政治運動ト申シマスカ、思想問題ト云フモノハ、兎角國民ノ一部ニ稍、議會ヲ信任シナイヤウナ傾ガアルトハ言ヒマセヌガ、何カ議會否認ト云フ聲モ、微ナリト雖モアルラシイ、サウシテ或ル一部ニハ、此議會トカ、政黨トカ云フモノニ關係ヲスル者ヲ以テ、ドウモ餘リ感心シナイ者ノヤウニ考ヘ、若クハソレヲ言ウテ居ル人モアル、コンナ不埒ナル考ヲ持ツ者ノコトヲ詳シクハ言ヒタクハナイ、併シサウ云フ者ガアルコトハ諸公モ御承知ノ通り、サウシテ或ル一部ノ者ガ憲法政治、議會政治ハ宜シクナイガ、憲法ノ中止ヲ唱ヘタ所ガ中々ソレハ出來ヌ、ダカラ正面カラ憲法ノ中止ヲ言ハナイデ、議會ノ權限ヲ一歩々々ト縮メテ、議會ヲ弱クシテ徐々ニ去勢スル、是デ行カウ、斯ウ云フ思想ヲ持チ、斯ウ云フコトヲ言フ一部ノ國民ノアルコトハ、諸公モ御承知ノ通りデアル、又左様ナ思想、左様ナ考ガ實現ヲシタコトガ、外國ニ其例ヲ見ラレルコトモ、諸公御承知ノコトデアル、非常ナ英雄ガ出ル、ソレガ獨裁政治ヲヤレバ、其非常ナ英

雄ガヤッテ居ル間ハ、見事ナ成績ヲ擧ゲルモノデアルコトハ、東西ノ歴史ガ之ヲ證明致シテ居リマス、ダカラサウ云フ點ダケヲ見レバ、獨裁政治、英雄政治ハ惚レムモ致スケレドモ、是ハ丁度近衛公ヲ首班トスル現内閣ニ對シテハ、國民齊シク信任措カザル所デアルガ、併シ内閣ハ如何ナル内閣デモ、常ニ國民ハ近衛内閣ノ如ク一切安心ヲシテ、御任セスルダケノ信頼ヲ置クカドウカハ問題デス、ソレト同様ニ非常ナ英雄ガ出テ獨裁政治ヲヤル、併シソレハイツモ出ルトハ言ヘヌカラ、英雄政治ハ贊成出來ナイ、ソコデ無論缺點モアルガ、ドウシテモ立憲政治ニ依ルノ外ハナイ、所ガ其立憲政治ノ缺點ノミヲ以テ、立憲政治ヲ否認セントスルノハ間違ヒデアルコトハ説明ヲ要シナイガ、是等ノ連中ハ常ニ議會ノ權限ヲ縮小スルコトヲ以テ目的トシテ居ル、サウ云フコトヲ言フテ居ル、サウ云フ「パンフレット」ヲ撒イテ居ル、此ノ「パンフレット」モ諸公ハ相當御覽ニナッタデアリマセウ、サウシテ斯様ナ考ヲ持ツ者ハ、雷ニ書生ボ若クハ政治家ト云フヤウナ在野ノ者ダケデナイト云フコトモ、諸公ハ御承知デアリマセウ、サウ云フ間違ッタ思想ヲ持チ、議會ヲ否認シ、議會ノ權限ヲ弱クシ、今ノ議會ハ宜ク

ナイト云フコトデ、兎ニモ角ニモ私共ガ國家ノ爲ニ排斥スベキモノナリト信ズル思想ヲ持ツ者ガ、平民以外ニアルコトモ御承知ノコトデアル、サウ云フ思想ヲ持ツ者ガアルガ爲ニ、近來頻々トシテ不詳事件ガ起ツタコトモ御承知ノ通り、サウシテ本案ノ如ク議會ノ權限ヲ奪ヒ、所謂議會ヲ去勢シヨウト云フ風ナ思潮、運動ガ數年來アルコトモ御承知デアラウト思フ、無論内閣諸公ハ勅旨ヲ奉ジテ、帝國議會ニ本案ヲ提出セラレタノデアルカラ、斷ジテ之ヲ通サナケレバナラスト云フ確信、必要デアルカラ之ヲ通過サセナケレバナラスト云フ信念、御決心ノアルコトハ私信ジマシ、其信念、決心ノ下ニ勅旨ヲ奉ジテ本案ヲ出シタノデアアルガ、諸公ノ説明ガ拙劣ナ爲ニ、吾々ニ了解ヲ與ヘルコトガ出來ナイノダト解釋シマス、仰シヤルコトハ理窟ハ通ル、併シ諸公ニハ信念ガアルノデアアル、唯説明ガ下手ダカラ——ト言ッテハ失禮デスガ、私共愚鈍ナルガ故ニ、政府ノ此行届ケル説明ガ了解出來ヌノデアルト致シテ置キマセウ、政府ノ仰シヤル所デハ、是非法律ヲ以テシナケレバナラスト事項ヲ一切勅令ニ讓ル、所謂白紙委任狀ヲ要求スルト云フガ如キ本案——此本案ニアル法律ノ制定ガ

必要ナルコトハ私ハ認メル、併シ政府ノ説明スル理由デハマダ首肯スルコトガ出來ナイ、ソコデ是ハドウモ何カノ力ニ引摺ラレタ——ト云フヤウナコトハ言ヒタクナイノデスガ、ドウモ何カ政府ガ或ル主張ニ多少デモ引摺ラレテ、政府ノ肉眼ガ曇ッテ來タノデハナイカト思フ、ト言フト甚ダ失禮デスガ……(笑聲)斯ウ云フコトガ必要ダト云フコトヲ唱ヘル若手ハ隨分居ル、オ役人ノ間ニモアル筈デアル、現ニアル、大イニアル、是等ガ盛シニヤッテ居ル、ケレドモ諸公ハ、國家ノ爲ニ社稷ヲ誤ルモノデハナイデセウガ、アナタ方ノ仰シヤル理由ダケデハ私ニハ分ラヌ、私ハドウモ必要ダト思ハヌ、ソレハドウモ理由トシテ此處デ御説明ニナルダケデハ説明ニナラス、何カノ力ト云フヨリモ、間違ッタ説ニ多少デモ耳ヲ傾ケルヤウナ人ノ起草シタモノヲ——ドウモ今デハ何ニシタッテ戰爭第一デ、何モ彼モ戰爭デ、軍事ニ必要ダト云フト、是ハ通サナケレバナラスト云フヤウナコトデ、閣議ニ於テ十分研究ヲサレナカッタ——ナドト云フコトハ申シマセヌ、斷ジテ言ハヌガ、ドウモ若イ役人ガ起草シタモノヲ、十分ナ檢討ヲ爲サズ——トハ私ハ言ヒタクナイガ(笑聲)ドウモ多少無意識のナ所ガアルノデハナイカト

云フ疑ガアル、ソレモ政府ガビツタリサセル答辯、愚鈍ナル私共ヲシテ能ク分ラシメル答辯、必要ガアルト首肯セシメルダケノ説明ヲ御與ヘ下サルナラバ、ソシナコトハ言ハス、ソシナコトハ言ハナイガドウモ私共分ラヌ、一部ニ若イ人ガ居ル、變ナノガ居ルカラネット言ウテ居ルノデアリマス(笑聲)ソレハ色々ナ部面ニモ居リマセウ、官吏ノ一部ニモ居ルカモ知レス、ドウモ分リマセヌガ、併シ政府ノ仰シヤルヤウニ、此内容ヲ定メズシテ、其内容ヲ勅令ニ讓ッテ、法律ヲ作ルコトガ適憲——憲法ニ適フト云フコトガ若シ言ヘレバ——本案ハサウナツテ居ル、内容ハ一切勅令ニ讓ッテアル、戦時ニ於テ必要ダト言ツタ所ガ、ソレハ決メル人ガ決メルバカリデ、或ハ物資トカ、或ハ業務トカ、或ハ資金トカ云フモノヲ動員シ得ルトアルガ、ソレハ如何ナル資金、如何ナル物資ト云フコトハ勅令決メル、サウ云フコトガ出來ルナラバ將來動産、不動産ノ權利ノ變更移轉ニ關スルコトモ、政府ガ必要ト認メル程度ニ於テ、勅令ヲ以テ定メルコトヲ得ト云フ法律案ヲ出シテ、ソレガ可決ヲセラレ、其法律ガ出來タ時ニ、ソレダツテ法律ノ形式ヲ具ヘテ居ルカラ、憲法違反ニアラズト言ハナケレバナラス

コトニナリマス、本案ト何處ガ違ヒマスカ、民法モ商法モ要ラス、一切ノ人民ノ權利、財産ハ、政府ガ必要デアル限度ニ於テ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ト云フ法律ヲ作レバ、獨逸ノ授權法ヨリハ是ハ簡單デス、政府ノ思フ通りニナル、ソレハ憲法違反ダトハ言ヒマセヌ、併ナガラス様ナコトヲヤツデ、是ガ憲法違反ニアラズト言ヒ得ル大膽ナ人ガ、此處ニ一人デモ居リマスカ、此戦時多忙ノ際デアリ、動産、不動産、總テノ私權ニ關スル權利ノ處分ハ、總テ之ヲ勅令ヲ以テ定ムト法文ノ中ニ入レルノガ、將來一番簡單デ便宜デアアル、ソシナコトガ出來テ堪ルカ、ソレハ憲法違反ダ、本案ガ憲法違反デナイナラバ、其法律モ憲法違反ニアラズ、何處ガ違ヒマス、恐ルベキ法案ダト私ハ思フ、要スルニ勅令ニ讓ッテ置ケバ便利ハ便利、便利ト云フノモ勝手ニ出來ルト云フノデハナク、法律ノ變更ト違ッテ命令ノ變更ハ便利デアアル、其必要ニ應ジテ變更シ得ルト云フ便利ガアル、政府ガ我儘ヲスルト云フノデハナク、必要ニ應ジテヤルト云フコトガ出來ル、併シ必要ニ應ジテヤルト云フノナラバ、ソレハ必要ノ時ニ制定シテ、大權ノ發動ヲ奏請シ奉ルト云フコトガ一番宜イデハナイカ、ソレ以上壯重

ナル手續ガ何處ニアル、是レ以上適切ナルモノガ何處ニアル、何故適切ニシテ壯嚴ナルモノヲ棄テテ之ヲヤルカ、ソレガ私共ニ分ラナイ、裏カラデモ表カラデモ宜シイガ、ドウゾ十分ニ「ラヂオ」ヲ通シ、新聞ヲ通ジ、速記録ヲ通ジテ國民ニ分ラセテ貰ヒタイ、國民ガ私ト同ジ程度ノモノデアラナラバ、政府ノ言フコトガ分リマセヌ、ドウゾ國民ガ成程必要已ムヲ得ザルモノダト諒解シ得ル程度ノ説明ヲ願ヒマス、ドナタデモ説明ノ上手ナ人デ宜シウゴザイマス

○佐藤陸軍航空兵中佐 板野君ノ最初ニ仰シヤイマシタ準備ダケシテ置ケバ宜イデヤナイカ、戦ノ情勢ハ千變萬化、ソレニ對應スル爲メ今カラソレヲ決メルコトガ出來ナイノデアアルカラ、今ソレヲ作ル必要ガナイデヤナイカ、即チ準備ニ關スル規定ダケヲ作ツデ、實施ニ關スルコトハ時ニ臨ンデ規定シテ宜イデヤナイカトノ御尋デゴザイマスガ、之ニ對スル法理論的御答辯ハ政府側ノ御答辯ニ依リマスガ、私ハ實例ヲ擧ゲテ具體的ニ御諒解ヲ仰ギタイと思ヒマス、例ヘバアナタノ近クニアルアノ陸軍ノ大キナ火藥庫デアリマス、アスコノ例ヲ取ツテ申シマスト、戦時アノ火藥庫ニ充滿シテ居リマスル火藥ハ、動員ガ下リマスト彈丸ニ填實スル、

是ハ私共火工作業ト申シマスルガ、是ハ莫大ナ仕事デアリマス、多數ノ人間ヲ要シ、而モ危險ノ件フ問題デアリマス、假リニ此仕事ニ對シテ附近ノ青年團、其中カラ兵役ノ關係者ヲ除イテ、ソレニ婦人團、是等ノ人々ヲ戦時使フコトガ出來ル、使フト言ツチャ失禮デスガ、其火工作業ニ働イテ貰フコトガ出來ルト云フコトデアリマスナラバ、陸軍トシテハ平時カラ此火工作業ノ爲ノ基幹職工ヲウント減ラスコトガ出來ルノデアリマス、出來得ベクンバ平時是等ノ人ヲ訓練シテ置イテ宜イノデアリマス、サウシマスレバ戦時ニ間ニ合フノデアリマス、然ルニ其準備ダケヤレバ宜イデヤナイカ、教育ヲヤレバ宜イデヤナイカ、斯ウナリマシテ、其教育ヲシ訓練シテ置イテモ、戦時はガ本當ニ使ヘルカ使ヘヌカ分ラヌノデアッデハ、吾ノ計畫ハ安心ガ出來ヌノデアリマス、デアルカラ戦時はハ必ず使ヘルノダト確證ガアッデコソ、初テ基幹職工ノ數モ減ラスコトガ出來、平時十分ニ教育スルコトモ出來ルト云フコトニナリマス、然ラバ其戦時實際ニ使ヘルト云フ命令ノ出來ル權能ハ、非常大權ニ讓レバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトニナリマスト、是ハ法律上ノコトデアリマスカラ、私ハ的確ニハ申上ゲラレマセヌ

ガ、サウ云フ問題ニ一々非常大權ヲ仰イデ、ソレデ善イカ惡イカト云フコトニナルト、ソレハ政府側カラ繰返シ御答辯ニナッテ居ル所ト同様デアラウト考ヘルノデアリマス

ソレカラ只今精神問題ヲ仰シヤイマシタガ、此法律ハ國民ガ國家ニ對スル忠誠心ガナイト云フコトヲ前提ニシテ作ツタ法律デハ斷ジテナイ、是ハ非常ナ誤解デアル、何トナレバ今私が申上ゲテ居ル實例モ、私共ガ考ヘタ例デハアリマセヌ、是ハ其方面ノ青年團ヤ何カノ考デアリマス、即チ國民ニ此忠誠心ガアレバコソ、私共ハサウ云フ組織ヲ考ヘラレル、サウ云フ戰時體制ト云フモノガ考ヘラレル、何デモ彼デモ陸軍ガ職工ヲ澤山持ッテ居ッテ、サウシテ戰時デナケレバ要ラナイ人間ヲ澤山養ウテ置カヌデモ、戰時ハ國民ノ忠誠心ニ懸ヘテ、是等ノ人ノ團體ニ依ッテアラウト云フ方策ガ考ヘラレマス、サレバト申シテ私共戰爭ノ時ハ協力シテヤリマスカラ、平素火工作業ヲ教ヘテ置イテ下サイト云フ人ガアリマシテモ、是ハ心ニ思ッテモ中々自分カラ進ンデ來ナイ人モアル、又サウシテ來ラレテモ實際法ノ根據ガナク、又具體的ノ計畫ヲ進メテ行カナイ以上、サウ勝手ニソレヲ使フトカ、教育スルトカ云フコトガ出來ナイノデアリマス、

是ハ色々ナ關係ニ於テ中々出來ナイ、又サウ云フ風ニ教育ヲシ、色々ノコトヲヤリマスニハ金モ掛リ、色々ノ問題ガ起リマスカラ、ソソナコトヲ軍ダケノ考デ以テ、勝手ナコトヲシナイデ、チャント法的根據ヲ定メテ、之ニ應ズル諸準備ヲ整ヘテ、國民ノサウ云フ團體ニ任務ヲ課シ、協力モシ、教育モシ、準備モスルト云フコトガ一番宜イノデハナイカト吾々ハ考ヘル、法律ノ理論ハ知リマセヌケレドモ、私共サウ云フ實際カラ、誠心誠意ヨリ、此戰時體制ノ準備ト云フコトヲ、法律ニ依ラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此點ハドウゾ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、理窟ヲ申シテハ恐入リマスケレドモ、私共ハ斯ウ云フ法律ト云フモノハ、議會ニ於テ國民ノ代表ノ協賛ヲ經テ、國家ノ定メタ命令ダト考ヘル、戰時銃ヲ執ッテ戰場ニ立ツ者ハ宜シウゴザイマスガ、サウデナイ人ハ何カ御役ニ立チタイ、是ハ吾々ノ所ヘモ此事變始ッテカラ、洵ニ涙グマシイ色々ナ申出ガアル、何カ御用ニ立チタイ、御用ハゴザイマセヌカ、サウ云フ場合色々スウ云フコトヲオヤリニナッタラ如何デスト言ヒマスガ、場合ニ依ッテハ陸軍省カラ命令ヲ吳レヌカ、政府カラ命令ガ欲シイ、斯ウ云フコトヲ仰シヤッテ參ル、

是等ノ心理ト云フモノニ付テ私一言申上ゲタイノデアリマス、是モ理窟ニナッテ恐縮デアリマスケレドモ、此法律ハ外ノ法律ト最モ違フ所ガ一ツアル、例ヘバ保健法トカ農地法トカ云フ法律ハ、現在ノ國民ノ健康問題、或ハ農村問題ニ於テ斯ウスルノダト云フコトヲ決メル法律デアリマスルガ、此法律ハ審議ヲシテ制定スル時期ト、使フ時期ト非常ニ違ヒガアル、若シ此法案ヲ審議セントスル者ニシテ、此法案ガ最高度ニ發揚サル、其情勢ガ、ドンナ情勢デアアルカト云フコトヲ頭腦ニ置キ、其情勢下ニ於ケル國民ハ何ヲ要求シ、如何ナル希望ヲ持ツカト云フコトヲ離レテ、此法案ヲ審議シタナラバ、法理論ガ如何ニ麗シイト雖モ、ソレハ零デアルト思フノデアリマス、是ハ少シ理窟ヲ申シテ恐入リマスガ、偕テ此法案ノ最高度ニ發揚サル、所ノ情勢ト云フモノヲ、吾々ハ如何ニ想定シテ居ルカ、是ハ非常ナ困難ナ情勢ト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、然ラバソレモ空デ申シテモ仕方ガナイ、實例ニ於テ然ラバ如何ナル時機カ、例ヘバ關東ノ大震災ノヤウナ時デアリマス、是等ノ時ニ於テ私共ハ痛切ニ感じタコトデアリマスルガ、彼ノ戒嚴令ノ如キモ、平時銃劊ガ國民生活ノ中ニ干渉スルト云フコトハ、假令

私共ノヤウナ軍人ニデモ餘リ有難イコトデハナイ、併ナガラアノ大震災ノ時ニハドウカ、戒嚴令ガ布カレタト云フコトデ國民ハホツト安心ヲシタ、吾々モ米一升、玄米一升ヲアツチノ米屋ニ、コッチノ米屋ニ頼ンデ歩イテ、頭ヲ下ゲテ買ハナケレバナラナカッタ時ハ、實ニ不安デアリマス、併シ國家ガ之ヲシツカリ握ッテ、物資ノ配給ヲヤッテ呉レルト云フコトニナッテ、初メテ安堵ガ出來マシタ、諸君、私ハ確信スルノデアリマスルガ、斯ル非常ノ場合ニ於キマシテ、國民ノ頼ミハ何デアアルカト云フコト、議會ト政府、立法ト行政トノ關係ト云フヤウナ問題デハナクシテ、何カ強力ナ力、強イ力ニ依ッテ敏活機敏ニ處理サル、ト云フコトデアリマス、サウシテ又其非常ノ時ニナッテ我が日本國民ノ傳統精神ト云フモノハ、何等カ我等モ一枚買ッテ出タイ、御用ニ立チタイト云フ氣持デアリマス、併シソレヲ個々別々ニ、各個ノ行動、各個ノ獨斷專行デハ有難クナイカラ、陸軍省ノ命令ヲ吳レンカ、政府ノ命令ヲ吳レンカト言フ、即チ我等ノ行動ガ、自分ノ行動ガ眞ニ國家ノ御用ニ立ツ行動デアルト云フ満足ノ下ニ、忠誠心ヲ發揮シタイノデヤナイカト思フノデアリマス、即チ此國民ノ心理ヲ擱ヘナケレバナラス、此國

民ノ忠誠心ヲ一ツモ無駄ナク、政府ガ公然ト公認ラシ、公然ト之ニ任務ヲ與ヘテ、サウシテ此全國民ノ精神力、物質力、是等ヲ一途ノ目標ニ向ッテ邁進セシムルト云フ所ノ組織ガ必要ナンデハナイカ、ソレガ即チ此總動員法ト云フモノニ依ッテ、其大綱ヲ決メルノダト私ハ信ズルノデアリマス、更ニ是ハ……

〔委員長アレハナンドスカ政府委員デスカ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 説明員デス

○佐藤陸軍航空兵中佐 私ハ許可ヲ得テ居

リマス、尙ホ私ハ茲ニ……〔發言スル者アリ〕尙ホ私ヨリ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、今斯ウ云フモノヲ決メテ置カスデモ宜イデハナイカ、此コトニ對シテ——是モ實情ニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレハ先般ドナタカモ仰セラレタト思ヒマスルガ、法律ハ國民ダケヲ縛ルモノデナイ、是ハ政府ニ於テモ其義務ヲ負フノデアリマス、而シテ此總動員法ノ整備ニ依リマシテ、完全ナル總動員ノ整備ヲ致サナケレバ如何ニ困ルカ……〔討論ハイカヌ〕討論ハ許サレマセヌト呼ヒ其他發言スル者アリ

○佐藤陸軍航空兵中佐 私ハ説明ヲ申上ゲルノデアリマス

〔委員長如何ナル限度ニ御許シニナタノデスカ〕全ク討論デヤナイカト呼ヒ其他發言スル者アリ

○小川委員長 マアモウ少シ……

○佐藤陸軍航空兵中佐 皆様ガ惡イト仰シ

ヤレバ止メマス、或ハ聽イテヤラウト仰シヤレバ申上ゲマス

〔止メタ方ガ穩カダ〕ヤリ給ヘ參考ニナルト呼フ者アリ

○佐藤陸軍航空兵中佐 然ラバ申上ゲマス

〔止メタ方ガ穩カダ〕ト呼ヒ其他發言スル者アリ

○佐藤陸軍航空兵中佐 ……

〔——トハ何ダ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○板野委員 委員長、議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス——今御議論中デアリマスガ、議事ノ進行上今申ス必要ニ迫ラレタカラ、アナタノ發言中ダガ一寸一言シマス、——

トハ何デス、説明ヲ承リマス、——ト云フ意味ハドウ云フ意味デスカ、誰ニ向ッテ言ツタカ、——ト云フコトハ誰ニ向ッテ言ツタカ

○佐藤陸軍航空兵中佐 申シマセウ、私ハ私ノ發言ノ繼續ニ關シテ御異論ガアリマシ

タカラ、暫ク發言ヲ止メテ皆様ノ御意向ヲ伺ヒ、ソレデ止メイト仰シヤレバ止メマス、

續ケロト仰シヤレバ續ケマス、斯様ニ申シ

マシタ所ガ、大體ノ御意向ガ續ケロト云フ風ニ思ツタノデ繼續シヨウトシタノデアリ

マス、シヨウトシタ所ガ私ニ對シテ彌次ガ飛ンダト私ハ考ヘルデアリマスカラ、是ハ言ツタノデアリマス

○板野委員 ——トハ何デス、アナタニ言ウタコトノ自覺ハアリマセウカ

○佐藤陸軍航空兵中佐 アリマス

○板野委員 其意味ヲ承リタウゴザイマス

○佐藤陸軍航空兵中佐 私ハ私ノ發言ニ對シテ——靜カニ聽ケ

ト云フ意味デアリマス

〔委員長ダ取締ルノハ〕委員長シカリセイト呼ヒ其他發言スル者アリ

○小川委員長 アナタハ——ト云フコトヲ御取消ニナツタラ如何デス

〔無禮ナコトヲ言フナ〕ト呼フ者アリ

○板野委員 ——トカ彌次ヲ封ズルト云フコトハ、貴公等ニハ出來ナイコトデアル

○小川委員長 今申シタコトヲ御取消ニナリマセスカ

〔議事進行〕ト呼ヒ其他發言スル者アリ

○佐藤陸軍航空兵中佐 委員長ノ仰セニ依リマシテ、——ト云フコトト、私ノ發言ヲ

——ト云フ言葉ハ取消シマス

○板野委員 取消シマシテモサウ云フ風ナ

人ノ説明ハ、議事ノ進行上忍ブベカラザルコトト、議會ノ威信ノ爲ニ御免ヲ蒙リタウ

存ジマス、委員長モ此點ニ對シテノ御處置ヲ願ヒマス

○宮脇委員 議事進行ニ付テ——、此重要法案ノ審議ニ當ッテ、委員トシマシテハ熱

誠以テ質問ヲ致シテ居ル、之ニ關シマシ

テハ政府當局モ、總理ガ言ハレタヤウニ熱誠以テ懇切ニ之ヲ答ヘ明言スルト、斯ウ申

シテ居ル、政府ニ於キマシテモ、今板野君

ノ要求ハドナタデモ宜イト言ヒマシタケレドモ、要スルニ國務大臣モ居レバ、政府委

員モ居ル、今アノ中佐ハ聽ケバ説明員デア

ル、斯ウ云フ説明員モ場合ニ依ッテハ説明シマセウ、併ナガラ今ノハ説明ト云フコトヲ

超越シマシテ、全ク議論討論デアル、ノミナラズ其説明カ討論カ其中ニ於テ如何デア

ルカ、如何ニモ議員ヲ刺戟スル言葉ヲ使ッテ居ル、吾々ハ本法案ニ於テ憲法論モアリマ

セウガ、又一面ニ於キマシテ議員ガ深ク憂ヘテ居ルノハ、動モスレバ此法案ガ通ッ

タ曉ニ於テ、現内閣デハサウ云フ無茶ハシマスマイガ、現在ノ風潮デハ或ハ「ファッシ」

ト云フ點ヲ心配シテ居ル爲ニ、其心配ヲ以テ
論議ヲ致シタ時ニ、アノヤウナ激越ナ言ヲ
爲ス、或ハ説明員ガ立ッテカラニ、議論討論ヲ
スルト云フコトハ、私ハ穩カデナイト思フ、其
結果今ミタヤウナ暴言ヲ吐ク、暴言デアル、
議場ノ整理ハ委員長ガ致ス、ドウカ陸軍當局
ニ於カレマシテモ、斯ウ云フヤウナ考ヘ違ッ
タ者ハ此席ニ出サナイヤウニ〔ヒヤ／＼〕

ソレガ本案ノ審議ヲ圓滑ニスル所以デアル、
又努メテ、政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイ、
政府委員ガ説明員ヲ御使ヒニナル、全ク議
場ニ對スル侮辱デアル〔ヒヤ／＼〕何ト云
フ暴言デアルカ〔其通りダ〕ト呼フ者アリ

——トハ何ダ、不都合千萬ダ、何ヲ言フカ、
慎メ、ドウカ陸軍當局ハ斯ウ云フ者ヲ今日
限り御出シニナラナイヤウニ願ヒマス
〔賛成〕ト呼フ者アリ

○板野委員 政府ニ御伺シマスガ、今——

ト云フ言葉ガアッテ、沈黙サレタアノ方ノ仰
シヤッタコトハ、政府ハ政府ノ答辯、政府ノ
言トシテ御認ニナリマスカ、是ハ國務大臣
ニ御聽シマスガ、政府ノ發言、政府ノ言ト
シテ承ッテ置イテ宜シイデゴザイマセウカ

○鹽野國務大臣 只今ノハ政府ガ説明サセ
タノデハナイノデアリマス、説明員ガ諸君
ノ御許ヲ得テ話シタノデアリマス

○板野委員 ソレデハ分ラヌ、ソレデハ今
ノ人ノ言ウタコトハ、政府ハ政府ノ言トシ
テ認メナイト云フコトニナリマスカ、政府
ガ命ジタノデハナイカラ、一切政府ニハ責
任ハナイノダ、勝手ニ喋ッタ、斯ウナルノデ
スカ、兎ニ角今ノハ政府ノ言トシテ承知シテ
宜イカ、サウハイカヌト仰シヤルノカ、ド
チデモ宜イ

○鹽野國務大臣 今ノハ委員長カラ許サレ
テ喋ッタノデアリマス、政府ガ説明員ニ對シ
テ、説明ヲ命ジタノデハアリマセヌ

○板野委員 ソレデハ政府ガ命ジタノデハ
ナイカラ、アノ言葉ニ付テハ政府ハ其責
ニ任ゼズ、斯ウナリマスカ、政府ニ聽キマ
スガ——オ聽キナサイ、鹽野國務大臣ニ聽
キマスガ、アレハ政府ガ命ジテ説明サセタ
ノデハナイ、アノ言ッタコトニ付テハ、政府
ハ其責ニ任ゼズト云フコトニナルノカ、ドッ
チデモ宜シイノデアリマス

○鹽野國務大臣 アノ發言ハ説明員ガ委員

長ノ許可ヲ得テ、進ンデ説明ニ當ッタノデア
リマスガ、勿論政府側ニ於ケル説明員デア
リマスルカラ、其言葉ニ付キマシテハ、
政府モ責任ヲ負ヒマスルガ、併シソレハ今
ノ速記録ヲ能ク讀ンダ上デ……

〔ソナコトハナイ〕「ソレハイカス」

ト呼ビ、其他發言スル者アリ

○板野委員 私鹽野國務大臣ニ申シマスガ、
私ハトツチメヨウト云フノデモ、ドウショ
ウト云フノデモナイ、議會ニ於ケル發言、デ
アルカラ、當然政府ガ責任ヲ負フノハ宜シ
イガ、アノ人ハ何者カ私ハ知ラヌ、ダカラ
私ハアノ人ノ言フコトヲ政府ノ發言、政府
ノ言葉トシテ、之ヲ承知シテ宜ケレバサウ
承知シテ扱フシ、今ノハ勝手ニ言ッタノデ、
ドウモ政府ハ其言葉ニ付テ責任ガ負ヘナイ
ト云フノナラ、コッチハソレヲ無視スルダ
ケダ、ソレヲ無視スルカ、政府ノ言トシテ扱
フカラ決メナケレバナラス、ソレダカラ是
ガ政府ハ其責ニ任ゼズト云フナラバ、吾々
ハ何モ之ヲ意ニ介シナイ、勝手ナコトラ
言ッタノダ、若シ政府ノ言トシテ扱ヘト云
フコトデアレバ、政府ノ言トシテ扱フ、速
記ヲ見テデハイケナイ、今ノ資格ハドウデ
アルカト云フコトニ付テ、今決定シナケレ
バナラス、今決メテ下サイ

○鹽野國務大臣 説明員ノ説明ハ勿論政府
ノ責任デアリマス

○板野委員 私ハ此議場ノ取締ノコトニ付
テ一寸申シタイコトガアリマスガ、是ハ今
日ハ申シマセヌ、唯、今ノ説明員ト仰シヤ
ル方ノ御言葉ヲ聽キマス、甚ダ私共諒解

ノ行カヌ點ガアル、アレハ政府ガ答辯ラシ
ロト言ッタノデハナイカラ、政府ハアノ言葉
ニ付テ責任ヲ負ハヌト云フノナラ、私ハ之ヲ

齒牙ニ掛ケヌ、失禮ナガラ大キナ聲ヲナサッ
タガ、齒牙ニ掛ケヌ、併ナガラ鹽野國務大臣
ハ之ヲ以テ政府ノ言ッタ言葉ト見テ吳レト斯
ウ仰シヤルカラ、初メテ是ガ議會ニ於ケル言
ニナル、ソレナラバ間違ノアル所ハ正シテ置
カナケレバナラス、大キナ聲ヲシテアナタハ
色々仰シヤイマシタガ、私共初カラ申シタ
通り、總動員ノ計畫準備ノ必要ハ痛感シテ居
ルト申シテ居ル、ソレデアリマスカラ今ノ説明
者ノ仰シヤル普段カラ訓練ヲシテ置カナケレ
バナラスト云フヤウナコトハ、是ハ準備ニ入ッ
テ居ルモノデアッテ、私共ハ其必要ヲ痛感シ
テ居ルノダカラ、此點ハ全然政府ノ方ト意
見ハ一致シテ居リマス、準備ヲシナケレバ
イカヌコトハ、アナタノ説明ヲ聽カナクテ
モ此處ニ居ル者ハ知ッテ居ル、アナタノ説明
ヲ聽イテ初メテ知ルノデハナイ、併ナガラ
アナタガ斯ウ云フコトヲ必要ダト仰シヤッ
タコトハ、全部は準備ニ屬スル、ソレカラ
ラ説明者ノ仰シヤッタコトデ、私共本意デナ
イ所ダケハ申シテ置キマス、普段カラ訓練シ
テ置カナケレバナラス、ソレダカラ此法律
ヲ早く作ラナケレバナラスト仰シヤル、併

シ此法律ヲ早く作ツタ所ガ、此法律ハ準備ニ
屬スルモノハ別トシテ、其他ハ戰時デナケ
レバイケナイ——一寸私政府ニ注意ヲ致シ
マス、昨日私ガ申シタコトニ付テ、私ノ發
言ヲ終ツテモ、大臣ハ直グ立ッテ答辯ヲシヨ
ウトシナカッタコトガアリマス、今日ハ私茲
ニ説明者ノ言ハレタ議論ノ間違ヒヲ質シ、
國務大臣ノ答辯ヲ求メマスガ、昨日ノヤウ
ナコトノナイヤウニ、直グ立ッテ答辯ノ出來
ルヤウニ聽イテ置イテ戴キタイ、私ハ説明
者ヲ相手ニシテ議論ハセヌ、間違ッタコトヲ
言ッテ居ル、併シ是ハ政府ノ言トシテ政府ガ責
ニ任ズルト云フノナラ、其間違ヲ正シ、之
ニ付テ鹽野サンノ意見ヲ聽ク、政府ニ必要
ナコトヲ聽ク、此法律ヲ拵ヘルト云ツタ所
ガ、準備ニ關スルモノハ今カラ發動スルガ、
其他ノモノハ戰時デナケレバ發動セヌノダ
カラ、此點ニ付テハ政府、説明者ニ誤解ガ
アリマス、大權ノ發動トカ、戒嚴令トカ云
フ議論ヲシイコトガアリマシタガ、ドウモ
御考ハ私等ト一緒ナノデス、一口申シテ置
キマス、吾々ハ本案ニ付テノ疑ヲ質シ、本案
ノ理由、本案ノ政府發案ノ趣旨ヲ捉ヘヨウ
ト云フガ爲ニ、之ヲ反覆シテ御尋ヲシテ居
ルノデアッテ、決シテ之ヲ非難スルトカ、攻
撃スルトカ云フノデハナイ、併シ盲從ハ議

員ハ出來ナイ、宜シウゴザイマスカ、成程
アナタハ軍事ノコトハ御精シイデアリマセ
ウガ、議會ノコトハ餘リ御精シクハナイ筈
デアル、今ノ言葉ハ失禮カモ知レマセヌガ、
吾々十分質スベキモノハ質サナケレバナラ
ヌ、政府ノ言フ通りニ盲從スルト云フコト
ハ禁物ナノデアル、ソレダカラ尋ネテ居ル
ノダカラ、大キナ聲ヲシテ反對者扱ヒヲシ
ナクテモ宜イ、ドウモ國民ノ一部ノ中ニ忠
義ト云フモノハ吾々ノ專賣物デ、ソレ以外
ノ、殊ニ政治家共ハ忠義デナイト云フ危險
ナコトヲ考ヘテ居ル者モアルカモ知レナ
イ、忠義ノ念ニ對シテ斷ジテ諸公ニ劣ル者
デハナイ、ドウカ此點ハ御安心ヲ願ヒマス、
唯解スベカラザル疑ガアルカラ聽イテ居
ル、是ハ吾々ノ職務デアルカラ已ムヲ得ヌ、
其代リ吾々ヲシテ了解セシムルダケノ説明
ヲシナケレバナラス、説明ガ上手ナノ説
明ヲ求ムルト言ツタノハ、實ハ是ハ失禮ナ言
葉ダガ、政府ヲ揶揄シタト言ッテハ惡イガ、
皮肉ニ言ウタノデス、説明ガ下手デ不徹底
ダカラ了解ニ苦シム、是等ノ點ニ付テ私ハ
鹽野大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○鹽野國務大臣 板野君ノ質問ニ御答ヲ致
シマス、板野君ノ先刻カラノ御意見ハ、憲法
第三十一條ガアッテ、其廣大無邊ナル力ガア
ルノダカラ、其時ニナッテ決メタラ宜イデ
ハナイカ、其事ハ國民一般ガ憲法ノ條章ニ
依ッテ能ク覺悟シテ居ルノデアル、覺悟トカ
準備トカ言フケレドモ、本法ヲ制定シナク
トモ、憲法ニ於テ既ニ國民ノ覺悟ヲ要求シ
テ居ルト云フ御説デアリマス、洵ニ御尤デ
アリマスルガ、併ナガラ政府ノ考ヘテ居リマ
スル所ハ、此總動員法ニ依ッテ臣民ノ持テル
總テノモノヲ要求シテ居ルノデアリマセヌ、
其中ノ主ナルモノデアリマスルガ、勞力ニ
關係スル部分、物資ニ關係スル部分ヲ數項
ニ分ケテ立法致シテ居ルノデアリマス、ソレ
ヲ如何ヤウニ制限シ、剝奪スルカラ本條ニ規
定致シマシテ、サウシテ國民ヲシテ平時ニ
於テ非常ノ場合ニ於テ總動員ガ行ハレル場
合ニハ、斯ク／＼ノ義務ヲ負フノデアルト
云フ目標ヲ、大綱ナガラ示シテ置ク方ガ宜
シイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○西尾委員 議事進行ニ付テ發言ヲ御許シ
願ヒマス——吾々理事ガ相談シマシテ、大
體今日カラ六時マデヤラウト云フコトデアッ
タノデアリマスガ、時刻モ既ニサウ云フ時
刻デアリマスシ、議場ノ空氣モ冷靜ニ審議
ヲ進メテ行クニ適當デアリマセヌカラ、今
日ハ此程度デ散會セラレンコトヲ望ミマス
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 是ニテ散會致シマス、明日
ハ午前十時ヨリ開會致シマス
午後六時三分散會

昭和十三年三月四日印刷

昭和十三年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局